

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあっては名称及び代表者の氏名)	株式会社カーボンニュートラル 代表取締役 久保好孝
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあっては主たる事務所の所在地)	東京都青梅市長湊5丁目636番地

(2) 事業の概要

発電事業の有無	☐ 有 ☒ 無
都内供給区分	☐ 特別高圧 ☐ 高圧 ☐ 低圧(電力) ☒ 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	・小売電気事業 ・地域のバイオマス発電をはじめとする再生可能エネルギーの開発、及びそこで発電される電力を地域内で消費する地産地消の電力供給スキームの構築と運用

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称		需給管理室
	連絡先	電 話 番 号	03-6416-4537
		ファクシミリ番号	03-6416-4974
		電子メールアドレス	carbon@morinodenryoku.co.jp
公 表 の 担当部署	名称		需給管理室
	連絡先	電 話 番 号	03-6416-4537
		ファクシミリ番号	03-6416-4974
		電子メールアドレス	carbon@morinodenryoku.co.jp

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2022 年 08 月 01 日		～	2023 年 07 月 31 日	
公表方法	☒ ホームページで公表	アドレス: http://www.morinodenryoku.co.jp/carbonneutral/				
	☐ 窓口での閲覧	閲覧場所:				
		所在地:				
		閲覧可能時間				
	☐ 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
		入手方法:				
	☐ その他					

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	-	0.00

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	-	0.000	100.00%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	-	0.000	
調整後CO ₂ 排出係数	-	0.702	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

バイオマス発電所からの電力調達を行い、排出係数削減に努めております。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	-	-	12	100.00%
(FIT電気)	-	-	12	100.00%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

他社所有の発電所により、バイオマス発電による電気を調達しております。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
-	-	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

現在、未利用エネルギー等の利用はございません。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

現在、都内に火力発電所は所有しておりません。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

バイオマス発電所からの電力調達を行っております。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

廃棄物を燃料としたバイオマス発電所より電源調達を行っております。

6 メニュー別調整後CO₂排出係数等の値

項目	前々年度			前年度		
	調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)		調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)	
メニューA	-	-	-	-	-	-
メニューB	-	-	-	-	-	-
メニューC	-	-	-	-	-	-
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			

(メニュー別調整後CO₂排出係数等に係る取組実績)

メニュー別排出係数を報告しておりますので、希望のお客様へこのメニューを供給しております。

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあっては名称及び代表者の氏名)	香川電力株式会社 代表取締役 宮前 博行
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあっては主たる事務所の所在地)	香川県高松市天神前10番5号

(2) 事業の概要

発電事業の有無	☐ 有 ☒ 無
都内供給区分	☐ 特別高圧 ☒ 高圧 ☒ 低圧(電力) ☒ 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	電力小売事業 沖縄を除く9エリアにおいて、地方自治体を含むオフィスビルや学校、小売店舗等の自由化領域のお客さまに対し、旧一般電気事業者の送配電網を経由して電気を供給しております。

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称		需給管理室
	連絡先	電 話 番 号	087-835-3755
		ファクシミリ番号	087-813-0044
		電子メールアドレス	kanri@kagawa-epco.co.jp
公 表 の 担当部署	名称		需給管理室
	連絡先	電 話 番 号	087-835-3755
		ファクシミリ番号	087-813-0044
		電子メールアドレス	kanri@kagawa-epco.co.jp

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2022 年 09 月 01 日		～	2023 年 07 月 31 日	
公表方法	☐ ホームページで公表	アドレス:				
	☒ 窓口での閲覧	閲覧場所: 本社				
		所在地: 香川県高松市天神前10番5号				
		閲覧可能時間 10:00～17:00				
	☐ 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
		入手方法:				
	☐ その他					

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	2.06	1.47

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.499	0.314	100.00%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	-	-	
調整後CO ₂ 排出係数	0.496	0.275	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

日本卸電力取引所以外からの電力調達を随時検討しており、再生可能エネルギーの供給拡大を継続して努めた

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	0	0.00%	0	0.00%
(FIT電気)	0	0.00%	0	0.00%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

再生可能エネルギーの発電事業者との交渉

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

発電事業者との交渉

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

所有していない

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

弊社電力の小売りのみではなく既存の空調に設置する電力使用量を抑制する仕組みを提供することで高効率電力利用を推進し需要家様のニーズを提供

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

特にありません

6 メニュー別調整後CO₂排出係数等の値

項目	前々年度			前年度		
	調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)		調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)	
メニューA	-	-	-	-	-	-
メニューB	-	-	-	-	-	-
メニューC	-	-	-	-	-	-
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			

(メニュー別調整後CO₂排出係数等に係る取組実績)

CO₂フリーメニューの導入を実施、今後全国に展開すべく検討中

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあっては名称及び代表者の氏名)	角栄ガス株式会社 代表取締役社長 古谷野 篤
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあっては主たる事務所の所在地)	東京都渋谷区元代々木町33番8号

(2) 事業の概要

発電事業の有無	☐ 有 ☒ 無
都内供給区分	☐ 特別高圧 ☒ 高圧 ☒ 低圧(電力) ☒ 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	当社は埼玉県及び千葉県に都市ガスを供給しているお客さまを中心に電気販売を行っております。

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称		供給保安推進部 業務グループ
	連絡先	電 話 番 号	03-3481-2071
		ファクシミリ番号	03-3481-2074
		電子メールアドレス	p-switch@kakuei-gas.co.jp
公 表 の 担当部署	名称		供給保安推進部 業務グループ
	連絡先	電 話 番 号	03-3481-2071
		ファクシミリ番号	03-3481-2074
		電子メールアドレス	p-switch@kakuei-gas.co.jp

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2022 年 08 月 01 日		～	2023 年 07 月 31 日	
公表方法	☐ ホームページで公表	アドレス:				
	☒ 窓口での閲覧	閲覧場所: 角栄ガス本社 各種約款縦覧スペース				
		所在地: 東京都渋谷区元代々木町33-8				
		閲覧可能時間 平日 9:00～17:00				
	☐ 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
		入手方法:				
	☐ その他					

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	0.18	0.10

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.645	0.332	100.00%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	-	-	
調整後CO ₂ 排出係数	0.590	0.276	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

他社のバランシンググループに属しているため、代表契約者を通じて排出係数の低い電気事業者からの調達に努めました。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	0	0.00%	0	0.00%
(FIT電気)	0	0.00%	0	0.00%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

他社のバランシンググループに属しているため、代表契約者を通じて再生可能エネルギーによる発電からの購入に努めました。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

他社のバランシンググループに属しているため、代表契約者を通じて自治体清掃工場における一般廃棄物発電、工場廃熱利用での発電などからの電力調達が出来よう努めました。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

自社にて火力発電所を有していないため、熱効率向上の措置及び進捗はありません。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

- ・省エネ意識の向上、需要家に対して節電の呼びかけを行っています。
- ・お客様の省エネ意識に貢献できるようにホームページ等で電力使用量等のデータを提供しています。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

- ・本社での対策として、夏場のエアコン設定温度上げなど、節電に努めました。
- ・会社としては、自動車を保有せず、温室効果ガスの削減に努めました。
- ・オフィス内のPCについて、パワーセーブを励行しました。
- ・室内照明について、不要時は消灯するよう努めました。

6 メニュー別調整後CO₂排出係数等の値

項目	前々年度			前年度		
	調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)		調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)	
メニューA	-	-	-	-	-	-
メニューB	-	-	-	-	-	-
メニューC	-	-	-	-	-	-
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			

(メニュー別調整後CO₂排出係数等に係る取組実績)

ありません。

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあっては名称及び代表者の氏名)	格安電力株式会社 代表取締役 陣在 貴文
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあっては主たる事務所の所在地)	大阪府大阪市中心区南船場3-2-22 おおきに南船場ビル201

(2) 事業の概要

発電事業の有無	☐ 有 ☒ 無
都内供給区分	☐ 特別高圧 ☒ 高圧 ☒ 低圧(電力) ☒ 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	電力の小売事業

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称		格安電力株式会社
	連絡先	電 話 番 号	06-4704-8007
		ファクシミリ番号	06-6226-8023
		電子メールアドレス	info@kakuyasud.com
公 表 の 担当部署	名称		格安電力株式会社
	連絡先	電 話 番 号	06-4704-8007
		ファクシミリ番号	06-6226-8023
		電子メールアドレス	info@kakuyasud.com

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2022 年 08 月 01 日		～	2023 年 07 月 31 日	
公表方法	☐ ホームページで公表	アドレス:				
	☐ 窓口での閲覧	閲覧場所:				
		所在地:				
		閲覧可能時間				
	☐ 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
		入手方法:				
	☒ その他	問い合わせがございましたら開示致します。				

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	0.33	0.53

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.478	0.323	100.00%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	-	-	
調整後CO ₂ 排出係数	0.479	0.267	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

特になし

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	0	0.00%	0	0.00%
(FIT電気)	0	0.00%	0	0.00%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

再生可能エネルギーの導入までには至らなかった。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

特になし

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

火力発電施設を所有していないため該当しません。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

特になし

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

社内における省エネ活動とペーパーレス化を進めています。

6 メニュー別調整後CO₂排出係数等の値

項目	前々年度			前年度		
	調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)		調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)	
メニューA	-	-	-	-	-	-
メニューB	-	-	-	-	-	-
メニューC	-	-	-	-	-	-
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			

(メニュー別調整後CO₂排出係数等に係る取組実績)

特になし

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあっては名称及び代表者の氏名)	歌舞伎エナジー株式会社 代表取締役 町田 錠二
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあっては主たる事務所の所在地)	東京都千代田区丸の内3-3-1

(2) 事業の概要

発電事業の有無	☐ 有 ☒ 無
都内供給区分	☐ 特別高圧 ☐ 高圧 ☒ 低圧(電力) ☒ 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	・電力小売事業

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称		歌舞伎エナジー株式会社
	連絡先	電 話 番 号	03-6821-0015
		ファクシミリ番号	
		電子メールアドレス	info@kabuki-energy.co.jp
公 表 の 担当部署	名称		歌舞伎エナジー株式会社
	連絡先	電 話 番 号	03-6821-0015
		ファクシミリ番号	
		電子メールアドレス	info@kabuki-energy.co.jp

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2022 年 08 月 01 日		～	2023 年 07 月 31 日	
公表方法	☐ ホームページで公表	アドレス:				
	☐ 窓口での閲覧	閲覧場所:				
		所在地:				
		閲覧可能時間				
	☐ 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
		入手方法:				
	☒ その他	問合せに対し個別に対応				

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	-	0.20

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	-	0.466	100.00%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	-	-	
調整後CO ₂ 排出係数	-	0.493	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

特にありません。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	-	-	0	0.00%
(FIT電気)	-	-	0	0.00%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

特にありません。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
-	-	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

特にありません。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

発電所を保有しておりません。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

特にありません。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

特にありません。

6 メニュー別調整後CO₂排出係数等の値

項目	前々年度			前年度		
	調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)		調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)	
メニューA	-	-	-	-	-	-
メニューB	-	-	-	-	-	-
メニューC	-	-	-	-	-	-
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			

(メニュー別調整後CO₂排出係数等に係る取組実績)

特にありません。

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあっては名称及び代表者の氏名)	カワサキグリーンエナジー株式会社 代表取締役 白井 勝久
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあっては主たる事務所の所在地)	神戸市中央区東川崎町三丁目1番1号

(2) 事業の概要

発電事業の有無	☐ 有 ☒ 無
都内供給区分	☐ 特別高圧 ☒ 高圧 ☒ 低圧(電力) ☒ 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	東北、東京、中部、関西、中国エリアにおいて、主に中小規模のオフィスビルや工場等の需要家に電力供給しています。

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称		業務部需給管理センター
	連絡先	電 話 番 号	
		ファクシミリ番号	
		電子メールアドレス	info@kscpower.jp
公 表 の 担当部署	名称		業務部需給管理センター
	連絡先	電 話 番 号	
		ファクシミリ番号	
		電子メールアドレス	info@kscpower.jp

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2022 年 08 月 01 日		～	2023 年 07 月 31 日	
公表方法	☐ ホームページで公表	アドレス:				
	☒ 窓口での閲覧	閲覧場所: カワサキグリーンエナジー株式会社				
		所在地: 神戸市中央区東川崎町三丁目1番1号				
		閲覧可能時間 平日8:00～17:00				
	☐ 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
		入手方法:				
	☐ その他					

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	1.74	2.08

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.391	0.472	100.00%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	-	-	
調整後CO ₂ 排出係数	0.334	0.408	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

非化石証書の購入を行いました。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	0	0.00%	0	0.00%
(FIT電気)	0	0.00%	0	0.00%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

グループ内及び他社の再生可能エネルギー発電の電力調達を検討しましたが
調達には至りませんでした。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

自治体保有クリーンセンター等の、余剰電力売却入札には参加しませんでした。
一方で、グループで取り扱っている廃棄物発電の余剰電力買取を検討しました。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

自社火力発電所を保有していません。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

- ・取次店と協力し、LEDや高効率空調機器などの、省エネ機器の販売をしています。
- ・取次店と協力し、電気使用量削減に向けて、各種提案を行っています。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

- ・グリーン購入を推進しています。
- ・不要な照明消灯など省エネに取り組んでいます。

6 メニュー別調整後CO₂排出係数等の値

項目	前々年度			前年度		
	調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)		調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)	
メニューA	-	-	-	-	-	-
メニューB	-	-	-	-	-	-
メニューC	-	-	-	-	-	-
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			

(メニュー別調整後CO₂排出係数等に係る取組実績)

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあっては名称及び代表者の氏名)	関西電力株式会社 代表執行役社長 森 望
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあっては主たる事務所の所在地)	大阪市北区中之島3丁目6番16号

(2) 事業の概要

発電事業の有無	☒ 有 ☐ 無
都内供給区分	☐ 特別高圧 ☒ 高圧 ☒ 低圧(電力) ☒ 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	・設立年月日 1951年5月1日 ・資本金 4,893億円 ・販売電力量 1,007億kWh ・発電設備(2021年度末) 水力 : 825万kW (151ヶ所) 火力 : 1,457万kW (10ヶ所) 原子力 : 658万kW (3ヶ所) 新エネルギー: 1.1万kW (3ヶ所) <合計> 2,940万kW(※) ※ 四捨五入の関係で、掲載数値の合計値と一致しません。 なお、現在、都内において自社で所有する発電所はありません。

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称		関西電力株式会社 エネルギー・環境企画室 環境マネジメントグループ
	連絡先	電 話 番 号	070-2904-4506
		ファクシミリ番号	06-6441-8598
		電子メールアドレス	
公 表 の 担当部署	名称		関西電力株式会社 エネルギー・環境企画室 環境マネジメントグループ
	連絡先	電 話 番 号	070-2904-4506
		ファクシミリ番号	06-6441-8598
		電子メールアドレス	

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2022 年 08 月 01 日		～	2023 年 07 月 31 日	
公表方法	☐ ホームページで公表	アドレス:				
	☐ 窓口での閲覧	閲覧場所:				
		所在地:				
		閲覧可能時間				
	☐ 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
	入手方法:					
☒ その他	担当部署に問い合わせ					

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	29.44	29.30

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.360	0.297	100.00%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	0.490	0.545	
調整後CO ₂ 排出係数	0.348	0.306	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

当社は、安全を最優先とした原子力発電の活用や火力発電所の熱効率維持・向上、再生可能エネルギーの開発などに取り組み、CO₂排出係数の削減に努めました。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	13,174	16.11%	16,586	16.82%
(FIT電気)	3,514	4.30%	4,162	4.22%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

当社は再生可能エネルギーの導入拡大に向け、次のとおり取り組みました。
 ・2021年6、7月 Etrion社が所有するメガソーラー発電所の取得(大阪ガス㈱、㈱日本政策投資銀行と共同実施)
 ・2022年2月 福岡県荏田町におけるバイオマス発電所の営業運転開始

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
155	0.19%	220	0.22%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

廃棄物焼却処理の余熱や高炉ガスを利用して発電した電力を調達しています。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

火力発電所については、設備や運用に関する対策を継続的に行った結果、火力発電所の総合熱効率は47.0%となりました。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

ご家庭のお客さまに対して、お客さまのご要望に応じた省エネルギーコンサルティング活動や、インターネットを活用した電気ご使用状況やCO2排出量の見える化サービス「はぴeみる電」のご紹介を実施するとともに、法人のお客さまに対して、最適なエネルギーシステムとその運用方法などをご提案するなど、省エネ・省コスト・省CO2に貢献しました。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

◆事務所におけるエネルギー使用量削減のため、代表的な事務所にエネルギーマネジメントを順次導入し、効率的な省エネルギー対策を検討・実施しています。
◆電気自動車およびプラグインハイブリッド車を活用し、事業運営に伴うCO2排出量の削減に努めました。
◆SF6ガスを用いたガス遮断器等の分解点検の際のSF6ガスの排出抑制に取り組んだ結果、回収率は、99.4%となりました

6 メニュー別調整後CO₂排出係数等の値

項目	前々年度			前年度		
	調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)		調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)	
メニューA	-	-	-	-	-	-
メニューB	-	-	-	-	-	-
メニューC	-	-	-	-	-	-
メニューD	-	-	-	-	-	-
メニューE	-	-	-	-	-	-
メニューF	-	-	-	-	-	-
メニューG	-	-	-	-	-	-
メニューH	-	-	-	-	-	-
メニューI	-	-	-	-	-	-
メニューJ	-	-	-	-	-	-

(メニュー別調整後CO₂排出係数等に係る取組実績)

当社の環境メニューとして、再エネECOプラン(特高・高圧、低圧)、再エネエコプランプレミアムを販売しております。
排出係数はいずれも0.000 kg-CO₂ / kWh です。

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあっては名称及び代表者の氏名)	株式会社関電エネルギーソリューション 代表取締役社長 川崎 幸男
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあっては主たる事務所の所在地)	大阪府大阪市北区中之島2丁目3番18号

(2) 事業の概要

発電事業の有無	☒ 有 ☐ 無
都内供給区分	☒ 特別高圧 ☒ 高圧 ☒ 低圧(電力) ☒ 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	・小売電気事業 電力自由化対象事業所への小売を目的とした電気事業を実施している。 ・発電事業 関西エリアにFIT発電所を保有している。 子会社において火力発電所を保有している。

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称		電力本部 電力需給部
	連絡先	電 話 番 号	03-6369-8747
		ファクシミリ番号	03-3562-4500
		電子メールアドレス	pps-transmission_ml@kenes.jp
公 表 の 担当部署	名称		電力本部 電力需給部
	連絡先	電 話 番 号	03-6369-8747
		ファクシミリ番号	03-3562-4500
		電子メールアドレス	pps-transmission_ml@kenes.jp

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2022 年 09 月 01 日		～	2023 年 07 月 31 日	
公表方法	☐ ホームページで公表	アドレス:				
	☐ 窓口での閲覧	閲覧場所:				
		所在地:				
		閲覧可能時間				
	☐ 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
		入手方法:				
	☒ その他	担当部署(電力本部)へ問合せ				

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	292.47	465.71

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.541	0.628	100.00%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	0.593	0.598	
調整後CO ₂ 排出係数	0.571	0.596	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

・非化石証書を購入し、調整後CO₂排出係数の削減に取り組んだ。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	18,178	3.36%	7,524	1.01%
(FIT電気)	18,178	3.36%	7,524	1.01%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

特になし。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

・前年度について、未利用エネルギー等の調達実績はなし。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

・子会社が所有する天然ガスコンバインド火力発電所において、火力発電熱効率の維持・向上に取り組んでいる。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

・お客さまに電気使用量のお知らせサービスを実施するなど、お客さまが効率的に電気をご利用いただけるような働きかけを行った。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

・関西電力グループの一員として「関西電力グループ環境方針」に基づき、省エネや省CO2などの取り組みを継続。

6 メニュー別調整後CO₂排出係数等の値

項目	前々年度			前年度		
	調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)		調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)	
メニューA	-	-	-	0.000	0.00%	0.00%
メニューB	-	-	-	-	-	-
メニューC	-	-	-	0.461	4.70%	2.57%
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			

(メニュー別調整後CO₂排出係数等に係る取組実績)

・非化石証書を購入し、調整後CO₂排出係数の削減、再エネメニューの提供に取り組んだ。

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあっては名称及び代表者の氏名)	北日本ガス株式会社 代表取締役社長 萩原 文男
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあっては主たる事務所の所在地)	栃木県小山市花垣町2丁目11番22号

(2) 事業の概要

発電事業の有無	☐ 有 ☒ 無
都内供給区分	☐ 特別高圧 ☐ 高圧 ☐ 低圧(電力) ☒ 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	・電力小売事業 2019年1月以降、弊社のガスをご利用されている家庭用のお客さまを中心に、電力小売事業を展開しています。

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称		営業本部 エネルギー企画グループ
	連絡先	電 話 番 号	0285-22-3318
		ファクシミリ番号	0285-21-3939
		電子メールアドレス	kita-kikaku@nichigas.co.jp
公 表 の 担当部署	名称		営業本部 エネルギー企画グループ
	連絡先	電 話 番 号	0285-22-3318
		ファクシミリ番号	0285-21-3939
		電子メールアドレス	kita-kikaku@nichigas.co.jp

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2022 年 08 月 01 日		～	2023 年 07 月 31 日	
公表方法	☐ ホームページで公表	アドレス:				
	☐ 窓口での閲覧	閲覧場所:				
		所在地:				
		閲覧可能時間				
	☐ 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
		入手方法:				
	☒ その他	担当部署の問い合わせに対して回答				

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	0.00	0.01

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.462	0.514	100.00%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	-	-	
調整後CO ₂ 排出係数	0.407	0.457	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

2022年1月から非FIT非化石証書を用いた実質再生可能エネルギー100%の電気の販売を開始しております。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	0	0.00%	0	0.00%
(FIT電気)	0	0.00%	0	0.00%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

前年度は具体的な取組は行っておりませんが、今後、再生可能エネルギーからの電源調達を検討して参ります。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

前年度は具体的な取組は行っておりませんが、今後、検討して参ります。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

火力発電所は所有しておりません。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

2022年1月から非FIT非化石証書による再生可能エネルギー100%の電気の販売を開始しております。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

・以前から営業で使用する自動車の大半にはLPGガス自動車を使用しており、CO2排出量の低減に貢献しております。
・5月から9月の夏季期間はクールビズを実施しを毎年継続、空調利用のエネルギーの削減を行っています。
・社内の会議や資料作成はペーパーレスでディスプレイ表示を基本とし、紙資源の節約による森林保護とCO2削減を継続しています。

6 メニュー別調整後CO₂排出係数等の値

項目	前々年度			前年度		
	調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)		調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)	
メニューA	-	-	-	-	-	-
メニューB	-	-	-	-	-	-
メニューC	-	-	-	-	-	-
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			

(メニュー別調整後CO₂排出係数等に係る取組実績)

2022年1月から非FIT非化石証書を用いた実質再生可能エネルギー100%の料金メニューを作成し提供しております。

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあつては名称及び代表者の氏名)	Castleton Commodities Japan 合同会社 職務執行者 ユアン・ズー
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあつては主たる事務所の所在地)	東京都渋谷区恵比寿四丁目3番5号704号室 アークアウトソーシング株式会社内

(2) 事業の概要

発電事業の有無	☐ 有 ☒ 無
都内供給区分	☐ 特別高圧 ☒ 高圧 ☐ 低圧(電力) ☐ 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	弊社は工場で利用する高圧電気を需要家に小売りをしています。

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称		コマーシャル・オペレーション部
	連絡先	電 話 番 号	03-3500-3615
		ファクシミリ番号	
		電子メールアドレス	GBL-JapanPower@cci.com
公 表 の 担当部署	名称		コマーシャル・オペレーション部
	連絡先	電 話 番 号	03-3500-3615
		ファクシミリ番号	
		電子メールアドレス	GBL-JapanPower@cci.com

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2022 年 08 月 02 日		～	2023 年 07 月 31 日	
公表方法	☐ ホームページで公表	アドレス:				
	☐ 窓口での閲覧	閲覧場所:				
		所在地:				
		閲覧可能時間				
	☐ 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
		入手方法:				
	☒ その他	問い合わせに対してメールで公表				

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	0.01	0.04

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.416	0.362	100.00%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	-	-	
調整後CO ₂ 排出係数	0.361	0.306	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

相対契約で電気小売事業者一社から電気を調達しており調達先の排出係数削対策に依存している

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	0	0.00%	0	0.00%
(FIT電気)	0	0.00%	0	0.00%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

相対契約で電気小売事業者一社から電気を調達しており調達先の再生可能エネルギー利用促進対策に依存している。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

相対契約で電気小売事業者一社から電気を調達しており、調達先の未利用エネルギー等の利用促進対策に依存している。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

火力発電所を所有していない。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

都内の電気需要者が1社に留まっており、顧客の電気使用量を注意深く観察している。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

顧客数、販売数量が増加した時点での検討課題と位置付けております。

6 メニュー別調整後CO₂排出係数等の値

項目	前々年度			前年度		
	調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)		調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)	
メニューA	-	-	-	-	-	-
メニューB	-	-	-	-	-	-
メニューC	-	-	-	-	-	-
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			

(メニュー別調整後CO₂排出係数等に係る取組実績)

顧客数、販売数量が増加した時点での検討課題と位置付けております。

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあっては名称及び代表者の氏名)	キャノンマーケティングジャパン株式会社 代表取締役社長 足立 正親
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあっては主たる事務所の所在地)	東京都港区港南2-16-6

(2) 事業の概要

発電事業の有無	☐ 有 ☒ 無
都内供給区分	☒ 特別高圧 ☒ 高圧 ☒ 低圧(電力) ☒ 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	弊社は、他の新電力事業者より電力を購入し、オフィスビル、店舗等、法人の事業者へ電力販売を行っています。

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称		オフィスデバイス企画部 AED・OES企画課
	連絡先	電 話 番 号	03-6719-9890
		ファクシミリ番号	03-6719-8317
		電子メールアドレス	denki-kouri@canon-mj.co.jp
公 表 の 担当部署	名称		オフィスデバイス企画部 AED・OES企画課
	連絡先	電 話 番 号	03-6719-9890
		ファクシミリ番号	03-6719-8317
		電子メールアドレス	denki-kouri@canon-mj.co.jp

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2022 年 08 月 01 日		～	2023 年 07 月 31 日	
公表方法	☐ ホームページで公表	アドレス:				
	☐ 窓口での閲覧	閲覧場所:				
		所在地:				
		閲覧可能時間				
	☐ 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
		入手方法:				
☒ その他	問合せの際は、メール・FAX等により対応いたします。					

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	1.90	2.80

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.332	0.332	100.00%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	-	-	
調整後CO ₂ 排出係数	0.277	0.276	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

他社のバランシンググループに属しているため、代表契約者を通じて排出係数の低い電気事業者からの調達に努めました。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	0	0.00%	0	0.00%
(FIT電気)	0	0.00%	0	0.00%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

他社のバランシンググループに属しているため、代表契約者を通じて再生可能エネルギーによる発電からの購入に努めました。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

他社のバランシンググループに属しているため、代表契約者を通じて自治体清掃工場における一般廃棄物発電、工場廃熱利用での発電などからの電力調達が出来よう努めました。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

自社にて火力発電所を有していないため、熱効率向上の措置及び進捗はありません。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

- ・省エネ意識の向上、需要家に対して節電の呼びかけを行っています。
- ・お客様の省エネ意識に貢献できるようにホームページ等で電力使用量等のデータを提供しています。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

- ・本社での対策として、夏場のエアコン設定温度上げなど、節電に努めました。
- ・会社としては、自動車を保有せず、温室効果ガスの削減に努めました。
- ・オフィス内のPCについて、パワーセーブを励行しました。
- ・室内照明について、不要時は消灯するよう努めました。

6 メニュー別調整後CO₂排出係数等の値

項目	前々年度			前年度		
	調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)		調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)	
メニューA	-	-	-	-	-	-
メニューB	-	-	-	-	-	-
メニューC	-	-	-	-	-	-
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			

(メニュー別調整後CO₂排出係数等に係る取組実績)

特にありません。

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあつては名称及び代表者の氏名)	九電みらいエナジー株式会社 代表取締役 水町 豊
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあつては主たる事務所の所在地)	福岡県福岡市中央区薬院三丁目2番23号 KMGビル

(2) 事業の概要

発電事業の有無	☒ 有 ☐ 無
都内供給区分	☒ 特別高圧 ☒ 高圧 ☒ 低圧(電力) ☒ 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	■小売電気事業 ・平成28年4月より、関東エリア(東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県、茨城県、栃木県、群馬県、静岡県の一部)の低圧および高圧需要家様向けに電力の小売販売を実施しております。 ■再生可能エネルギー発電事業 ・主要再エネ5電源(太陽光、風力、バイオマス、地熱、水力)の開発、運営

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称		営業本部
	連絡先	電 話 番 号	092-981-0953
		ファクシミリ番号	092-981-0958
		電子メールアドレス	t-mirai@q-mirai.co.jp
公 表 の 担当部署	名称		営業本部
	連絡先	電 話 番 号	092-981-0953
		ファクシミリ番号	092-981-0958
		電子メールアドレス	t-mirai@q-mirai.co.jp

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2022 年 08 月 01 日		～	2023 年 07 月 31 日	
公表方法	☐ ホームページで公表	アドレス:				
	☐ 窓口での閲覧	閲覧場所:				
		所在地:				
		閲覧可能時間				
	☐ 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
	入手方法:					
☒ その他	問合せ受付時に個別に対応					

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	544.88	498.87

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.480	0.430	100.00%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	-	-	
調整後CO ₂ 排出係数	0.472	0.432	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

・電源調達に当たって、二酸化炭素排出係数を考慮した対応を行っております。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	0	0.00%	0	0.00%
(FIT電気)	0	0.00%	0	0.00%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

・他事業者からの調達を検討して参りましたが、2021年度においては実績が無いため、引き続き検討を進めて参ります。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

・他事業者からの調達を検討して参りましたが、未だ実績がないため、今後においても、引続き検討を進めて参ります。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

・東京都内で火力発電所を有しておりません。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

・弊社とご契約いただいている需要家様に対し、弊社会員サイト(無料)にて、日々の使用電力量を30分単位でグラフ化し、ひと目で確認いただけるサービスを提供することで、需要家様の節電意識向上に寄与しております。
・また、上記会員サイトにおいては、過去の電気ご使用実績を最大で2年分確認いただくことができるため、前年・前々年と現在の使用電力量とを比較いただくことができます。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

・弊社は主に九州で、再生可能エネルギーの発電事業を実施しており、太陽光、風力、地熱、バイオマス、水力と、再生可能エネルギー5電源すべての開発・運営を実施しております。
・九州電力グループの信頼と技術を活かし、調査・計画・建設・運営管理を一貫体制で行い、長期安定稼動を実現することで、再生可能エネルギーの普及に尽力しております。

6 メニュー別調整後CO₂排出係数等の値

項目	前々年度			前年度		
	調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)		調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)	
メニューA	-	-	-	-	-	-
メニューB	-	-	-	-	-	-
メニューC	-	-	-	-	-	-
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			

(メニュー別調整後CO₂排出係数等に係る取組実績)

2021年度供給分からメニュー別排出係数を作成したが、報告は辞退。

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあっては名称及び代表者の 氏名)	株式会社Qvou 代表取締役 久保 龍太郎
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあっては主たる事務所の所在 地)	兵庫県神戸市中央区御幸通6-1-20

(2) 事業の概要

発電事業の有無	☐ 有 ☒ 無
都内供給区分	☐ 特別高圧 ☐ 高圧 ☒ 低圧(電力) ☒ 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電 事業の概要も記載すること。)	低圧規模の太陽光発電所を、主に関西電力、九州電力の両エリアにおいて施工、 販売、運用を行っている。小売電気事業については、各地域の大手電力様(東北 電力様など)及びJEPXなどから電力の供給を受け、全国で供給を行っている。

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称		新電力事業部
	連絡先	電 話 番 号	03-6452-6940
		ファクシミリ番号	
		電子メールアドレス	ep@qvou.com
公 表 の 担当部署	名称		新電力事業部
	連絡先	電 話 番 号	03-6452-6940
		ファクシミリ番号	
		電子メールアドレス	ep@qvou.com□

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2022 年 08 月 01 日		～	2023 年 07 月 31 日	
公表方法	☐ ホームページで公表	アドレス:				
	☒ 窓口での閲覧	閲覧場所: 株式会社Qvou 東京本社				
		所在地: 東京都渋谷区渋谷2丁目11番5号 クロスオフィス 渋谷メディア7F				
		閲覧可能時間 平日 10:00～17:00				
	☐ 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
		入手方法:				
	☐ その他					

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	-	0.04

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	-	0.479	100.00%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	-	-	
調整後CO ₂ 排出係数	-	0.451	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

昨年度より電力小売事業に参入しているため、販売実績は少なく、まだ環境価値を付加価値としたメニューを提供することができていないのが現状である。もっとも、令和4年度以降、段階的に調達した電力量に対して非化石証書などを付加することで環境価値の低減を図ることを全社として取り組むことを決定しており、2030年度には全ての供給電力に対する非化石証書100%をめざしている。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	-	-	0	0.00%
(FIT電気)	-	-	0	0.00%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

当社が施工した太陽光発電所の電力の調達を優先的に行うことを検討している。
また太陽光発電所の発電計画に対する余剰電力を、蓄電池に充電し、電力に無駄がないように図る。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
-	-	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

当社が施工した太陽光発電所の電力の調達を優先的に行うことを検討している。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

火力発電施設を有しないため該当しない。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

需要家に対して、ホームページ上にて地球温暖化防止の方策についてPRし、地球温暖化抑制意識の普及拡大を企図とした動画の掲載を検討している。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

社用車を、EVに変更することを検討している。

6 メニュー別調整後CO₂排出係数等の値

項目	前々年度			前年度		
	調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)		調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)	
メニューA	-	-	-	-	-	-
メニューB	-	-	-	-	-	-
メニューC	-	-	-	-	-	-
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			

(メニュー別調整後CO₂排出係数等に係る取組実績)

--

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあつては名称及び代表者の氏名)	京セラ関電エナジー合同会社 職務執行者 原田 雄文
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあつては主たる事務所の所在地)	京都府京都市伏見区竹田鳥羽殿町6番地

(2) 事業の概要

発電事業の有無	☐ 有 ☒ 無
都内供給区分	☐ 特別高圧 ☐ 高圧 ☐ 低圧(電力) ☒ 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	お客さまの住宅の屋根に太陽光発電システムを設置させていただき、発電した電力と系統電力をお客さま宅へ供給し、ご使用分を購入いただくサービスを提供している。

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称		京セラ関電エナジー合同会社
	連絡先	電 話 番 号	06-7638-7784
		ファクシミリ番号	
		電子メールアドレス	
公 表 の 担当部署	名称		京セラ関電エナジー合同会社
	連絡先	電 話 番 号	06-7638-7784
		ファクシミリ番号	
		電子メールアドレス	

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2022 年 09 月 01 日		～	2023 年 07 月 31 日	
公表方法	☐ ホームページで公表	アドレス:				
	☐ 窓口での閲覧	閲覧場所:				
		所在地:				
		閲覧可能時間				
	☐ 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
		入手方法:				
	☒ その他	担当部署への問合せ				

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	0.05	0.15

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.370	0.365	100.00%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	-	-	
調整後CO ₂ 排出係数	0.371	0.331	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

お客さま宅への太陽光発電設備の設置ならびに排出係数の少ない電源からの調達を行い削減に努めている。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	0	0.00%	0	0.00%
(FIT電気)	0	0.00%	0	0.00%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

実績なし。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

実績なし。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

保有していない。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

電気ご使用量のお知らせによる、省エネ意識の醸成

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

なし。

6 メニュー別調整後CO₂排出係数等の値

項目	前々年度			前年度		
	調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)		調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)	
メニューA	-	-	-	-	-	-
メニューB	-	-	-	-	-	-
メニューC	-	-	-	-	-	-
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			

(メニュー別調整後CO₂排出係数等に係る取組実績)

なし

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあつては名称及び代表者の氏名)	株式会社球磨村森電力 代表取締役 中嶋 崇史
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあつては主たる事務所の所在地)	熊本県球磨郡球磨村大字渡乙1625-2

(2) 事業の概要

発電事業の有無	☐ 有 ☒ 無
都内供給区分	☐ 特別高圧 ☐ 高圧 ☒ 低圧(電力) ☒ 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	・電力小売事業 弊社は、事務所などの需要家への小売を目的とした電力小売事業を実施しています。

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称		総務
	連絡先	電 話 番 号	0120-748-166
		ファクシミリ番号	050-3153-3298
		電子メールアドレス	info@kuma-den.com
公 表 の 担当部署	名称		総務
	連絡先	電 話 番 号	0120-748-166
		ファクシミリ番号	050-3153-3298
		電子メールアドレス	info@kuma-den.com

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2022 年 08 月 01 日		～	2023 年 07 月 31 日	
公表方法	☐ ホームページで公表	アドレス:				
	☐ 窓口での閲覧	閲覧場所:				
		所在地:				
		閲覧可能時間				
	☐ 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
	入手方法:					
☒ その他	問い合わせある場合は共有					

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	-	0.01

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	-	0.350	100.00%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	-	-	
調整後CO ₂ 排出係数	-	0.294	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

地域ぐるみでの脱炭素化のため、熊本県球磨村及び球磨村森林組合と共同で環境省の脱炭素先行地域に申請しました。採択され、今年度以降順次オンサイトPPAと相対電源用の太陽光発電設備を設置していきます。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	-	-	0	0.00%
(FIT電気)	-	-	0	0.00%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

オンサイトPPA用の太陽光発電設備4か所(モジュール容量合計40.82kW)を新たに設置し、設置済みのものを含めて6か所(モジュール容量合計62.6kW)になりました。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
-	-	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

未利用エネルギー等を利用した発電はありません。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

火力発電所を保有していません。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

RE100用再エネメニューを検討中です。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

熊本県球磨村における脱炭素先行地域の公用車のEV化、EVバスの導入、エネマネシステムの導入の計画を策定しました。

6 メニュー別調整後CO₂排出係数等の値

項目	前々年度			前年度		
	調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)		調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)	
メニューA	-	-	-	-	-	-
メニューB	-	-	-	-	-	-
メニューC	-	-	-	-	-	-
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			

(メニュー別調整後CO₂排出係数等に係る取組実績)

今後設置予定の相対電源用太陽光発電設備を活用した再エネメニューを検討中です。

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあっては名称及び代表者の氏名)	熊本電力株式会社 代表取締役 町田 錠二
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあっては主たる事務所の所在地)	東京都千代田区丸の内3-3-1

(2) 事業の概要

発電事業の有無	☐ 有 ☒ 無
都内供給区分	☐ 特別高圧 ☐ 高圧 ☒ 低圧(電力) ☒ 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	・電力小売事業

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称		管理部
	連絡先	電 話 番 号	03-4400-1930
		ファクシミリ番号	
		電子メールアドレス	info@ombreenergy.co.jp
公 表 の 担当部署	名称		管理部
	連絡先	電 話 番 号	03-4400-1930
		ファクシミリ番号	
		電子メールアドレス	info@ombreenergy.co.jp

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2022 年 08 月 01 日		～	2023 年 07 月 31 日	
公表方法	☐ ホームページで公表	アドレス:				
	☐ 窓口での閲覧	閲覧場所:				
		所在地:				
		閲覧可能時間				
	☐ 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
		入手方法:				
	☒ その他	問合せに対し個別に対応				

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	0.11	0.36

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.448	0.464	100.00%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	-	-	
調整後CO ₂ 排出係数	0.405	0.421	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

特にありません。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	0	0.00%	0	0.00%
(FIT電気)	0	0.00%	0	0.00%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

特にありません。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

特にありません。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

発電所を保有しておりません。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

特にありません。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

特にありません。

6 メニュー別調整後CO₂排出係数等の値

項目	前々年度			前年度		
	調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)		調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)	
メニューA	-	-	-	-	-	-
メニューB	-	-	-	-	-	-
メニューC	-	-	-	-	-	-
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			

(メニュー別調整後CO₂排出係数等に係る取組実績)

特にありません。

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあつては名称及び代表者の氏名)	株式会社 グランデータ 代表取締役社長 手島 太一
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあつては主たる事務所の所在地)	東京都豊島区南池袋二丁目9番9号

(2) 事業の概要

発電事業の有無	☐ 有 ☒ 無
都内供給区分	☐ 特別高圧 ☐ 高圧 ☒ 低圧(電力) ☒ 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	エネルギー事業

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称		管理本部
	連絡先	電 話 番 号	03-6709-1803
		ファクシミリ番号	03-6709-1803
		電子メールアドレス	gijutsuhonbu@grandata-grp.co.jp
公 表 の 担当部署	名称		管理本部
	連絡先	電 話 番 号	03-6709-1803
		ファクシミリ番号	03-6709-1803
		電子メールアドレス	gijutsuhonbu@grandata-grp.co.jp

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2022 年 08 月 01 日		～	2023 年 07 月 31 日	
公表方法	☐ ホームページで公表	アドレス:				
	☐ 窓口での閲覧	閲覧場所:				
		所在地:				
		閲覧可能時間				
	☐ 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
	入手方法:					
☒ その他	問い合わせがあれば開示					

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	20.37	45.19

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.470	0.421	46.65%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	-	-	
調整後CO ₂ 排出係数	0.415	0.365	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

「前年度排出係数を持たない新規参入事業者からの受電のために把握率が100未満です。」

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	0	0.00%	0	0.00%
(FIT電気)	0	0.00%	0	0.00%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

再エネ100%のプランの検討中

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

検討中

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

所有なし

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

検討中

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

検討中

6 メニュー別調整後CO₂排出係数等の値

項目	前々年度			前年度		
	調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)		調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)	
メニューA	-	-	-	-	-	-
メニューB	-	-	-	-	-	-
メニューC	-	-	-	-	-	-
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			

(メニュー別調整後CO₂排出係数等に係る取組実績)

再生可能エネルギー100%のメニューを検討しております。

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあつては名称及び代表者の 氏名)	グリーンナ株式会社・代表取締役 伊藤 敦
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあつては主たる事務所の所在 地)	東京都新宿区西新宿1-23-7 新宿ファーストウエスト14F

(2) 事業の概要

発電事業の有無	☐ 有 ☒ 無
都内供給区分	☐ 特別高圧 ☒ 高圧 ☒ 低圧(電力) ☒ 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電 事業の概要も記載すること。)	(1)電力小売事業 平成27年度に高圧電力の供給を開始し、平成28年度からは低圧電力へも供給を開始しました。J-クレジットやグリーン電力証書、非化石証書を活用した再エネ100%プランを中心に小売電気供給を実施しています。 (2)太陽光発電に関わる部材の販売を通じた再エネ発電施設の拡大 グループ会社にて太陽光パネルおよび関連部材の開発から設置までを全国規模で展開し、完成設備に対し当社の電気供給を進めています。

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称		グリーンナ株式会社
	連絡先	電 話 番 号	03-6279-4567
		ファクシミリ番号	
		電子メールアドレス	greena_jukyu@nextenergy.jp
公 表 の 担当部署	名称		グリーンナ株式会社
	連絡先	電 話 番 号	03-6239-4567
		ファクシミリ番号	
		電子メールアドレス	greena_info@nextenergy.jp

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2022 年 08 月 01 日		～	2023 年 07 月 31 日	
公表方法	☒ ホームページで公表	アドレス: https://ne-greena.jp/kojin/service/co2.html				
	☐ 窓口での閲覧	閲覧場所:				
		所在地:				
		閲覧可能時間				
	☐ 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
		入手方法:				
	☐ その他					

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	5.23	6.45

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.330	0.455	100.00%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	-	-	
調整後CO ₂ 排出係数	0.000	0.006	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

再エネ発電施設へのアプローチを積極的に行い、再エネ由来の電源確保に努めた。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	4,782	30.17%	25	0.18%
(FIT電気)	50	0.32%	25	0.18%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

FIT制度外の再エネ発電施設との電気調達に関わる契約の拡大

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

現時点で調達する計画はない。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

自社で火力発電所を所有していない。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

環境価値(非化石証書など)を活用した電気供給プランを提供し、環境意識の高い需要家、高くない需要家それぞれへの手法を変えた広報活動を通じて、温暖化防止への関心を高めます。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

特にありません。

6 メニュー別調整後CO₂排出係数等の値

項目	前々年度			前年度		
	調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)		調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)	
メニューA	0.000	0.00%	0.00%	-	-	-
メニューB	0.000	0.00%	0.00%	-	-	-
メニューC	0.000	0.00%	0.00%	-	-	-
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			

(メニュー別調整後CO₂排出係数等に係る取組実績)

非化石証書を購入し、メニューA、Bに調達した再エネに対して環境価値を付与しています。

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあっては名称及び代表者の氏名)	株式会社クリーンエネルギー総合研究所 代表取締役 横山幹生
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあっては主たる事務所の所在地)	東京都豊島区東池袋1-5-6

(2) 事業の概要

発電事業の有無	☐ 有 ☒ 無
都内供給区分	☐ 特別高圧 ☒ 高圧 ☐ 低圧(電力) ☐ 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	☐ 小売電気事業(特別高圧・高圧) ☐ 太陽光発電設備の無償設置による電力供給事業 (いわゆるオンサイトPPA事業) ☐ グループ会社でFIT太陽光発電所を運営(172, 000kW)

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称		株式会社クリーンエネルギー総合研究所
	連絡先	電 話 番 号	03-3987-3490
		ファクシミリ番号	
		電子メールアドレス	info@c-energylab.jp
公 表 の 担当部署	名称		株式会社クリーンエネルギー総合研究所
	連絡先	電 話 番 号	03-3987-3490
		ファクシミリ番号	
		電子メールアドレス	info@c-energylab.jp

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2022 年 08 月 01 日		～	2023 年 07 月 31 日	
公表方法	☐ ホームページで公表	アドレス:				
	☒ 窓口での閲覧	閲覧場所: 会社事務室				
		所在地: 東京都豊島区東池袋1-5-6				
		閲覧可能時間 10:00-16:00				
	☐ 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
		入手方法:				
	☐ その他					

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	0.22	0.64

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.500	0.468	100.00%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	-	-	
調整後CO ₂ 排出係数	0.445	0.103	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

排出係数の削減には繋がりませんが、工場等に太陽光発電設備を設置し再エネ電力を供給(オンサイトPPA)しており、今後もその取組みを続けて参ります。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	0	0.00%	0	0.00%
(FIT電気)	0	0.00%	0	0.00%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

工場等に太陽光発電設備を設置し再エネ電力を供給(オンサイトPPA)しており、今後もその取組みを続けて参ります。また、グループ会社においてFIT太陽光発電所を運営しており、将来的には当該発電所の電気を含む再エネ電気を供給して行く予定です。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

特にございません。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

火力発電所は所有しておりません。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

再エネによるオンサイト・オフサイトのPPA(電力購入契約)や省エネ診断の取組を進めて参ります。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

太陽光発電によるオンサイトのPPA(電力購入契約)については実施しているところですが、今後はオフサイトのPPAも検討して参ります。

6 メニュー別調整後CO₂排出係数等の値

項目	前々年度			前年度		
	調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)		調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)	
メニューA	-	-	-	0.000	0.00%	0.00%
メニューB	-	-	-	-	-	-
メニューC	-	-	-	0.116	0.00%	0.00%
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			

(メニュー別調整後CO₂排出係数等に係る取組実績)

非化石証書を購入することで、特定のメニューについて調整後CO₂排出係数ゼロの環境価値を付与し販売しております。

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあっては名称及び代表者の氏名)	グリーンピープルズパワー株式会社 代表取締役 竹村英明
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあっては主たる事務所の所在地)	東京都新宿区新宿2-4-2 カーサ御苑903

(2) 事業の概要

発電事業の有無	☒ 有 ☐ 無
都内供給区分	☐ 特別高圧 ☒ 高圧 ☒ 低圧(電力) ☒ 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	当社は、低圧需要家を中心に東京電力管内に電気を供給しています。当社の特徴として、調達電源に再生可能エネルギーをできる限り含めるべく、電源調達を行っているところです。また、その調達している再生可能エネルギーも、原則として小規模の発電所であること、発電者及び発電事業者の経営理念が、(1)地産地消、(2)市民の力、(3)脱原発と地球温暖化対策といった当社の理念と 乖離しないことを確認した上で調達したものととなります。

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称		グリーンピープルズパワー株式会社
	連絡先	電 話 番 号	03-6274-8660
		ファクシミリ番号	03-6380-5244
		電子メールアドレス	jimu@greenpeople.co.jp
公 表 の 担当部署	名称		グリーンピープルズパワー株式会社
	連絡先	電 話 番 号	03-6274-8660
		ファクシミリ番号	06-6380-5244
		電子メールアドレス	info@greenpeople.co.jp

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2022 年 10 月 01 日		～	2023 年 07 月 31 日	
公表方法	☐ ホームページで公表	アドレス:				
	☐ 窓口での閲覧	閲覧場所:				
		所在地:				
		閲覧可能時間				
	☐ 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
		入手方法:				
	☒ その他	問い合わせがあった際に適宜担当部署から公表する				

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	0.51	0.45

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.348	0.234	100.00%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	-	-	
調整後CO ₂ 排出係数	0.459	0.468	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

再生可能エネルギーの電源調達を通じてCO2排出係数の一層の削減を目指している。当社の想定している電源調達計画を鑑みて目標値を算定している。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	388	26.25%	972	50.54%
(FIT電気)	354	23.95%	755	39.26%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

時間帯ごとに再生可能エネルギーが特に多く発電されている時間帯(10:00～16:00)があるので、特に再生可能エネルギーの発電量が多い時間帯の利用促進をする料金プランの検討やアナウンスを実施している。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

なし

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

当社は火力発電所を所有していない。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

社内の共通理念として共有しており、現時点で担当部署は設けていないが、「全社員体制」で、日々の省エネ強化に取り組んでいる。例えば、業務を行う際に必要以上のエネルギーを使用していないか意識して使用状況を見直す、当社から発行しているメールマガジンで不定期に「省エネ講座」として電気や熱の省エネアイデアを提案するなど行っている。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

自社ホームページやメールマガジンなど当社の有する広報媒体、プレスリリースなどを有効活用して、地球温暖化対策に対して当社からも積極的な発信を行った。

6 メニュー別調整後CO₂排出係数等の値

項目	前々年度			前年度		
	調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)		調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)	
メニューA	-	-	-	-	-	-
メニューB	-	-	-	-	-	-
メニューC	-	-	-	-	-	-
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			

(メニュー別調整後CO₂排出係数等に係る取組実績)

現在該当するメニューはない。

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあっては名称及び代表者の氏名)	株式会社グリムスパワー 代表取締役 中村友則
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあっては主たる事務所の所在地)	東京都品川区東品川2-2-4

(2) 事業の概要

発電事業の有無	☐ 有 ☒ 無
都内供給区分	☐ 特別高圧 ☒ 高圧 ☒ 低圧(電力) ☒ 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	■電力小売事業 弊社は、工場や商店等の法人需要家を中心に、電力販売を行っております。 ■その他 需要家の使用状況に応じて、運用改善及び設備改善の提案を行っております。

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称		業務管理部
	連絡先	電 話 番 号	03-5769-3659
		ファクシミリ番号	03-6863-9851
		電子メールアドレス	dkcs@gremz-power.co.jp
公 表 の 担当部署	名称		業務管理部
	連絡先	電 話 番 号	03-5769-3659
		ファクシミリ番号	03-6863-9851
		電子メールアドレス	dkcs@gremz-power.co.jp

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2022 年 08 月 01 日		～	2023 年 07 月 31 日	
公表方法	☐ ホームページで公表	アドレス:				
	☐ 窓口での閲覧	閲覧場所:				
		所在地:				
		閲覧可能時間				
	☐ 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
		入手方法:				
	☒ その他	担当部署に問合せ				

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	66.75	62.61

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.475	0.464	100.00%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	-	-	
調整後CO ₂ 排出係数	0.486	0.470	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

当社はバランシンググループを通して、電源の調達を行っておりますが、引き続き代表契約者と排出係数低減に向け、環境負荷の低い電力調達先を模索してまいります。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	0	0.00%	0	0.00%
(FIT電気)	0	0.00%	0	0.00%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

現時点、実績等はありません。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

現時点、具体的な実績等はありません。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

当社は火力発電所を有しておりません。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

需要家の使用状況に応じて、運用改善及び設備改善の提案を行っております。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

当社事業社において、クールビズ・ウォームビズの推奨及びLED照明等の利用。

6 メニュー別調整後CO₂排出係数等の値

項目	前々年度			前年度		
	調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)		調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)	
メニューA	-	-	-	-	-	-
メニューB	-	-	-	-	-	-
メニューC	-	-	-	-	-	-
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			

(メニュー別調整後CO₂排出係数等に係る取組実績)

現時点、実績等はありません。

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあっては名称及び代表者の氏名)	株式会社グローアップ 代表取締役 古田 高浩
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあっては主たる事務所の所在地)	東京都豊島区南大塚2-45-8 ニッセイ大塚駅前ビル4F

(2) 事業の概要

発電事業の有無	☐ 有 ☒ 無
都内供給区分	☐ 特別高圧 ☐ 高圧 ☒ 低圧(電力) ☒ 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	製パン製菓店向けの電気料金プランを提供しております。 電源に関しましては一部相対電源と他全量提携会社にJEPXの購入代行を依頼し調達しております。

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称		株式会社グローアップ
	連絡先	電 話 番 号	03-5302-2297
		ファクシミリ番号	
		電子メールアドレス	pps1@gue.co.jp
公 表 の 担当部署	名称		株式会社グローアップ
	連絡先	電 話 番 号	03-5302-2297
		ファクシミリ番号	
		電子メールアドレス	pps1@gue.co.jp

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2022 年 09 月 01 日		～	2023 年 07 月 31 日	
公表方法	☐ ホームページで公表	アドレス:				
	☒ 窓口での閲覧	閲覧場所: 株式会社グローアップ 本社				
		所在地: 東京都豊島区南大塚2-45-8				
		閲覧可能時間 10:30～18:00				
	☐ 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
		入手方法:				
	☐ その他					

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	2.51	2.94

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.427	0.453	100.00%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	-	-	
調整後CO ₂ 排出係数	0.372	0.397	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

排出量の増加は、調達先の排出係数の上昇によるところです。

短期的にはCO2排出量を削減するための電源を購入し需給管理等を行っていくための社内整備を行っております。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	6	0.10%	0	0.00%
(FIT電気)	6	0.10%	0	0.00%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

他社所有の再生エネルギーの買い付けを行うための社内環境の整備を行っております。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

未利用エネルギー等を購入するための社内体制強化

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

火力発電所が所有していない

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

需要家の皆様への訪問時に省エネの声掛け

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

特になし

6 メニュー別調整後CO₂排出係数等の値

項目	前々年度			前年度		
	調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)		調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)	
メニューA	-	-	-	-	-	-
メニューB	-	-	-	-	-	-
メニューC	-	-	-	-	-	-
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			

(メニュー別調整後CO₂排出係数等に係る取組実績)

特になし

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあっては名称及び代表者の氏名)	株式会社グローバルエンジニアリング 代表取締役 高橋 宏忠
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあっては主たる事務所の所在地)	福岡県福岡市東区香椎1-1-1 ニシコーリビング香椎2F

(2) 事業の概要

発電事業の有無	☒ 有 ☐ 無
都内供給区分	☒ 特別高圧 ☒ 高圧 ☒ 低圧(電力) ☒ 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	・自家用発電設備販売、メンテナンス事業 ・ダイヤモンドリスポンズ事業 調整力(類型2)、ネガワット取引(類型1)を実施 ・エネルギーマネジメントサービス BEMSアグリゲーター、エネルギーマネジメント事業者として登録 ・新電力事業 小売電気事業者としての電力卸・小売供給事業 ・発電事業 九州地域に石油火力発電所(約1,000kW)を保有し、太陽光発電を2015年4月より調達 ・社会実証事業 経済産業省が行うバーチャルパワープラント実証事業への参加

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称		営業本部 営業開発部
	連絡先	電 話 番 号	03-6452-9801
		ファクシミリ番号	03-6452-9802
		電子メールアドレス	sales_development@g-eng.co.jp
公 表 の 担当部署	名称		営業本部 営業開発部
	連絡先	電 話 番 号	03-6452-9801
		ファクシミリ番号	03-6452-9802
		電子メールアドレス	sales_development@g-eng.co.jp

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2022 年 11 月 01 日		～	2023 年 07 月 31 日	
公表方法	☐ ホームページで公表	アドレス:				
	☐ 窓口での閲覧	閲覧場所:				
		所在地:				
		閲覧可能時間				
	☐ 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
		入手方法:				
	☒ その他	担当部署への問い合わせ				

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	7.71	12.92

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.362	0.565	99.96%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	-	-	
調整後CO ₂ 排出係数	0.418	0.592	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

前年度排出係数を持たない新規参入事業者からの受電ため把握率が100%に満たない。

- ・太陽光発電所からの供給を引き続き行い、卒FITなどの再生可能エネルギーの導入量を増やしました。
- ・非化石証書の購入も増やしました。
- ・都内の事業者に対して、デマンドリスポンスを用いた負荷平準化に取り組んでいます。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	1,478	6.94%	103	0.45%
(FIT電気)	1,457	6.83%	57	0.25%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

- ・太陽光発電所からの調達を実施し、都内需要家へ供給しています。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

・未利用エネルギー等による発電所からの電源調達の計画はないため、実績はありません。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

・日常点検をととして早期に異常を発見する体制を整え、発電効率の向上に努めています。
・燃費の良い負荷率で運転を目指し、他の電源調達と調整しながら運用しています。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

・需要家毎にインターネットを通じてエネルギー使用量の可視化を実現すると共に、より省エネ運用改善となるようシステムの継続開発に取り組んでいます。
・排出量削減の電気料金メニューも提供しています。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

・省エネ・CO2削減などの課題を解決するため、需要家に対しエネルギーマネジメントシステムなど総合的な提案を行っています。
・RE100に対応する再エネメニューも用意しており、2021年度からは積極的にお客様に提案しております。

6 メニュー別調整後CO₂排出係数等の値

項目	前々年度			前年度		
	調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)		調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)	
メニューA	-	-	-	0.000	0.00%	0.00%
メニューB	-	-	-	-	-	-
メニューC	-	-	-	0.573	16.58%	7.17%
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			

(メニュー別調整後CO₂排出係数等に係る取組実績)

2021年度(R5対象)の報告の際に排出係数ゼロメニューを報告していました。

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあつては名称及び代表者の氏名)	株式会社グローバルキャスト 代表取締役 川口 英幸
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあつては主たる事務所の所在地)	名古屋市中村区平池町4-60-12 グローバルゲート14F

(2) 事業の概要

発電事業の有無	☐ 有 ☒ 無
都内供給区分	☐ 特別高圧 ☒ 高圧 ☒ 低圧(電力) ☒ 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	・電力小売事業 弊社は、北海道電力管内・東北電力管内・東京電力管内・中部電力管内・北陸電力管内・関西電力管内・中国電力管内・四国電力管内・九州電力管内における飲食店や美容室といった需要家などへの小売を目的とした電力小売事業を実施しています。

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称		事業サポートグループ 事業サポート推進部 本社支援課
	連絡先	電 話 番 号	052-433-7177
		ファクシミリ番号	052-433-7178
		電子メールアドレス	energy.share@global-cast.jp
公 表 の 担当部署	名称		事業サポートグループ 事業サポート推進部 本社支援課
	連絡先	電 話 番 号	052-433-7177
		ファクシミリ番号	052-433-7178
		電子メールアドレス	energy.share@global-cast.jp

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2022 年 09 月 01 日		～	2023 年 07 月 31 日	
公表方法	☐ ホームページで公表	アドレス:				
	☐ 窓口での閲覧	閲覧場所:				
		所在地:				
		閲覧可能時間				
	☐ 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
		入手方法:				
	☒ その他	お問い合わせ時に個別に対応				

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	1.23	0.00

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.470	0.332	100.00%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	-	-	
調整後CO ₂ 排出係数	0.496	0.276	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

再生可能エネルギーからの調達を検討し、温室効果ガスの排出量削減を目指します。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	0	0.00%	0	0.00%
(FIT電気)	0	0.00%	0	0.00%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

現状、弊社にて発電および調達している再生可能エネルギーはございませんので、太陽光発電など再生可能エネルギーの買い付けを行うための社内環境の整備を行っております。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給量については、現段階で計画はありません。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

火力発電所は保有していません。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

省エネに役立てて頂くよう、マイページから30分値の電力使用量を確認できるようになっております。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

- ・自動車からの温室効果ガス削減のため、営業で使用する自動車を順次低燃費型の自動車に変えていきます。
- ・カーシェアリングを活用し、自社での営業車所有を減らしていきます。
- ・オフィスにて、夏はクールビズ、冬はウォームビズ活動を実施しております。

6 メニュー別調整後CO₂排出係数等の値

項目	前々年度			前年度		
	調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)		調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)	
メニューA	-	-	-	-	-	-
メニューB	-	-	-	-	-	-
メニューC	-	-	-	-	-	-
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			

(メニュー別調整後CO₂排出係数等に係る取組実績)

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあつては名称及び代表者の氏名)	グローバルソリューションサービス株式会社 代表取締役 逸見 尚弘
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあつては主たる事務所の所在地)	東京都港区海岸3丁目9-15 LOOP-Xビル 17階

(2) 事業の概要

発電事業の有無	☐ 有 ☒ 無
都内供給区分	☐ 特別高圧 ☒ 高圧 ☒ 低圧(電力) ☒ 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	東京/中部/関西管内にて高圧・低圧の需要者を対象に電気の供給を行っています。 自社での発電事業はございません。

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称		マネージド・ビジネス・ソリューション事業部
	連絡先	電 話 番 号	03-5740-0967
		ファクシミリ番号	03-6368-9992
		電子メールアドレス	energy@gssltd.co.jp
公 表 の 担当部署	名称		マネージド・ビジネス・ソリューション事業部
	連絡先	電 話 番 号	03-5740-0967
		ファクシミリ番号	03-6368-9992
		電子メールアドレス	energy@gssltd.co.jp

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2022 年 08 月 01 日		～	2023 年 07 月 31 日	
公表方法	☐ ホームページで公表	アドレス:				
	☐ 窓口での閲覧	閲覧場所:				
		所在地:				
		閲覧可能時間				
	☐ 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
		入手方法:				
	☒ その他	お客様のお問合せ時に個別で対応いたします。				

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	3.07	3.75

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.482	0.466	100.00%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	-	-	
調整後CO ₂ 排出係数	0.427	0.410	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

現在は、自社で利用している電源に火力等排出係数にかかわる電気がございません。今後は、再生可能エネルギーの調達などによりCO2排出係数の引き下げを行います。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	0	0.00%	0	0.00%
(FIT電気)	0	0.00%	0	0.00%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

現状、弊社にて発電および調達している再生可能エネルギーはございません。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

現状、弊社にて発電および調達している再生可能エネルギーはございません。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

弊社は火力発電所を所有しておりません。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

EMSを提案、導入し需要家の電力使用量を抑制する活動を行っております。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

発電施設を持たない事業者として、電源の負担を減らすべく余剰インバランスの削減を行います。

6 メニュー別調整後CO₂排出係数等の値

項目	前々年度			前年度		
	調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)		調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)	
メニューA	-	-	-	-	-	-
メニューB	-	-	-	-	-	-
メニューC	-	-	-	-	-	-
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			

(メニュー別調整後CO₂排出係数等に係る取組実績)

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあっては名称及び代表者の氏名)	auエネルギー&ライフ株式会社 代表取締役社長 梶川 秀樹
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあっては主たる事務所の所在地)	〒102-8460 東京都千代田区飯田橋3丁目10番10号 ガーデンエアタワー

(2) 事業の概要

発電事業の有無	☐ 有 ☒ 無
都内供給区分	☐ 特別高圧 ☐ 高圧 ☒ 低圧(電力) ☒ 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	・小売電気事業 2016年4月の電力小売の全面自由化に伴い電力小売事業に参入しました。ICTの利活用によってより効率的でより利便性の高いエネルギーサービスを提供し、お客さまの新たなライフスタイル創造に貢献することを目的に、auをご利用のお客さまを中心に全国で「auでんき」を提供しています。また、2021年より再エネ指定の非化石証書を使用した実質再生可能エネルギー比率100%の「auでんきecoプラン」の提供も開始しました。

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称		auエネルギー&ライフ株式会社
	連絡先	電 話 番 号	03-6678-1687
		ファクシミリ番号	
		電子メールアドレス	
公 表 の 担当部署	名称		auエネルギー&ライフ株式会社
	連絡先	電 話 番 号	03-6678-1687
		ファクシミリ番号	
		電子メールアドレス	

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2022 年 08 月 01 日		～	2023 年 07 月 31 日	
公表方法	☐ ホームページで公表	アドレス:				
	☐ 窓口での閲覧	閲覧場所:				
		所在地:				
		閲覧可能時間				
	☐ 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
		入手方法:				
	☒ その他	担当部署へのお問い合わせ				

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	261.02	274.62

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.441	0.490	100.00%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	0.075	1.384	
調整後CO ₂ 排出係数	0.363	0.434	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

非化石証書の調達等を行いました。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	15,697	2.65%	8	0.00%
(FIT電気)	15,697	2.65%	8	0.00%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

持続的発展が可能な社会の実現を目指し、環境のために役立つ新規ビジネスの発掘・推進に努めています。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

・未利用エネルギー等を利用した電気供給の計画はありません。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

・火力発電所は保有していません。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

・一般家庭向けにスマートフォンを活用した便利でおトクな電力の見える化サービス「auでんきアプリおよび会員サイト(WEB)」において、30分ごとの電気使用量や、毎月の月額料金予測、家電別の電力消費量を表示するページを提供し、お客さまの省エネ行動に役立つ情報の提供をしています。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

・2050年までのCO2排出量実質ゼロ実現にむけ、2030年度までにCO2自社排出量を2019年度比で50%削減する目標を設定しました。CO2排出量削減にむけ、携帯電話基地局や通信設備などでの省電力化や、再生可能エネルギーへのシフトを推進していきます。(2022年4月にプレスリリースを発表し、2030年度までにCO2自社排出量を2019年度比でゼロに前倒しする目標を設定いたしました。)

・au携帯電話基地局では、お客さまのご利用状況に応じ、AIが電波の停発射を制御する技術(基地局AI制御技術)で電力使用量を最大半分に削減する実証実験を行っております。

・データセンターについて従来の空冷方式より冷却効率の高い「液体冷媒」を使用することで消費電力の削減を目指す実証実験に成功し、従来型のデータセンターと比較して43%の消費電力削減が実現しました。本実証結果の結果もふまえ、今後もCO2排出量の削減を可能にするシステムの研究開発を、本格導入に向けて推進しています。

・auショップでお客さまから回収した使用済み携帯電話のリサイクルを推進しています。新たな鉱物資源採掘・精製を削減することによって二酸化炭素の発生を抑制し、できる限り無駄なく再資源化を行うためにすべての分解作業を手作業で行うことを徹底しています。

・ISO14001の認証取得(2004年)を行い、その活動を継続しています。

6 メニュー別調整後CO₂排出係数等の値

項目	前々年度			前年度		
	調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)		調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)	
メニューA	-	-	-	-	-	-
メニューB	-	-	-	-	-	-
メニューC	-	-	-	-	-	-
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			

(メニュー別調整後CO₂排出係数等に係る取組実績)

・再エネ指定の非化石証書を活用することにより実質的に再生可能エネルギー比率100%の電力メニューの提供しております。

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあっては名称及び代表者の氏名)	ゲーテハウス株式会社 代表取締役 小野 勘
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあっては主たる事務所の所在地)	東京都中央区日本橋蛸殻町1丁目10番1

(2) 事業の概要

発電事業の有無	☐ 有 ☒ 無
都内供給区分	☐ 特別高圧 ☒ 高圧 ☐ 低圧(電力) ☐ 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	・電力小売事業 弊社は工場、事業所といった需要家へ小売を目的とした電力小売事業を実施しています

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称		STW事業部
	連絡先	電 話 番 号	03-3668-2451
		ファクシミリ番号	03-3668-2457
		電子メールアドレス	pps_stw@goethe.co.jp
公 表 の 担当部署	名称		STW事業部
	連絡先	電 話 番 号	03-3668-2451
		ファクシミリ番号	03-3668-2457
		電子メールアドレス	pps_stw@goethe.co.jp

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2022 年 08 月 01 日		～	2023 年 07 月 31 日	
公表方法	☐ ホームページで公表	アドレス:				
	☒ 窓口での閲覧	閲覧場所: 本社6階STW事業部受付スペース				
		所在地: 東京都中央区日本橋蛸殻町1丁目10番1号				
		閲覧可能時間 9:00～17:30				
	☐ 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
		入手方法:				
	☐ その他					

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	0.03	0.03

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.473	0.468	100.00%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	-	-	
調整後CO ₂ 排出係数	0.480	0.481	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

電力の供給箇所が1箇所、また供給量も少ないため、現在のところ対策はできておりません。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	0	0.00%	0	0.00%
(FIT電気)	0	0.00%	0	0.00%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

現在発電事業は行っておらず、また今後行う予定もありません。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

現在発電事業は行っておらず、また今後行う予定也没有せん。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

現在発電事業は行っておらず、また今後行う予定也没有せん。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

電気使用量をグラフにし、お客様使用状況を分かりやすくお伝えすることで省エネの意識を高めていただきます。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

・エアコンの設定温度を下記の通り推奨します。
冷房:27～28℃／暖房:20～21℃

・営業顧客に向けて、弊社独自のエネルギーマネジメントシステムを用いた省エネ対策を提案、推進しております。

6 メニュー別調整後CO₂排出係数等の値

項目	前々年度			前年度		
	調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)		調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)	
メニューA	-	-	-	-	-	-
メニューB	-	-	-	-	-	-
メニューC	-	-	-	-	-	-
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			

(メニュー別調整後CO₂排出係数等に係る取組実績)

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあつては名称及び代表者の 氏名)	気仙沼グリーンエナジー株式会社 代表取締役 富田進太郎
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあつては主たる事務所の所在 地)	宮城県気仙沼市八日町一丁目4番12号

(2) 事業の概要

発電事業の有無	☐ 有 ☒ 無
都内供給区分	☐ 特別高圧 ☒ 高圧 ☒ 低圧(電力) ☒ 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電 事業の概要も記載すること。)	・電力小売り事業 高圧/低圧の法人需要家(東北電力管内・東京電力管内)に対する電力の小売り供給。RE100に適合する再エネプランと通常プランを準備。 ・PPA事業 顧客敷地内ないし屋根上に弊社所有の太陽光発電設備を設置、発電した電気を販売。一定の契約期間終了後、設置した太陽光発電設備は建物の所有者に無償で譲渡。 ・ESCO事業 省エネ診断を実施、弊社所有にてLEDや空調を更新、光熱費の削減を行う。発生費用については、契約期間内に削減される光熱費からの支出とし、契約期間終了後設備を無償で譲渡。

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称		気仙沼グリーンエナジー株式会社 地域創生部
	連絡先	電 話 番 号	0226-25-8423
		ファクシミリ番号	なし
		電子メールアドレス	info@kesennuma-ge.jp
公 表 の 担当部署	名称		同上
	連絡先	電 話 番 号	同上
		ファクシミリ番号	なし
		電子メールアドレス	同上

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2022 年 08 月 01 日		～	2023 年 07 月 31 日	
公表方法	☐ ホームページで公表	アドレス:				
	☐ 窓口での閲覧	閲覧場所:				
		所在地:				
		閲覧可能時間				
	☐ 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
		入手方法:				
	☒ その他	問い合わせごとに対応				

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	0.70	0.97

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.325	0.388	100.00%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	0.000	0.000	
調整後CO ₂ 排出係数	0.629	0.421	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

再生可能エネルギー(FIT電気含む)比率60%を目指し、域内再エネ電源の調達を実施。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	713	32.97%	216	8.61%
(FIT電気)	713	32.97%	216	8.61%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

・気仙沼市内の卒FIT太陽光買取を実施。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

予定なし。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

弊社は、火力発電所を所有していません。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

電力の供給先である東京都環境公社及び目黒区に対し、供給先需要家施設で当社電力が用いられていることを記載・PR実施。
また、再エネプランによる供給、地域産品の製造過程に発生する二酸化炭素排出量を見える化し、顧客に対し電力と合わせた提案を行う。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

実施無し。

6 メニュー別調整後CO₂排出係数等の値

項目	前々年度			前年度		
	調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)		調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)	
メニューA	-	-	-	-	-	-
メニューB	-	-	-	-	-	-
メニューC	-	-	-	-	-	-
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			

(メニュー別調整後CO₂排出係数等に係る取組実績)

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあつては名称及び代表者の氏名)	神戸電力株式会社 代表取締役 木下 伊三見
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあつては主たる事務所の所在地)	兵庫県神戸市中央区江戸町85番地の1

(2) 事業の概要

発電事業の有無	☐ 有 ☒ 無
都内供給区分	☐ 特別高圧 ☒ 高圧 ☐ 低圧(電力) ☐ 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	電力小売事業 弊社は、工場や大規模オフィスビルといった需要家へ小売りを目的とした、電力小売事業を実施しています。

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称		神戸電力株式会社
	連絡先	電 話 番 号	078-392-0023
		ファクシミリ番号	078-392-0024
		電子メールアドレス	kanri@kobe-ep.co.jp
公 表 の 担当部署	名称		神戸電力株式会社
	連絡先	電 話 番 号	078-392-0023
		ファクシミリ番号	078-392-0024
		電子メールアドレス	kanri@kobe-ep.co.jp

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2022 年 08 月 01 日 ~ 2023 年 07 月 31 日	
公表方法	☒ ホームページで公表	アドレス: https://kobe-ep.co.jp/	
	☐ 窓口での閲覧	閲覧場所:	
		所在地:	
		閲覧可能時間	
	☐ 冊子(環境報告書等)	冊子名:	
	入手方法:		
☐ その他			

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	-	0.00

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	-	0.433	100.00%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	-	-	
調整後CO ₂ 排出係数	-	0.377	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

供給開始が2022年3月22日からのため前年度の取り組み実績はなし。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	-	-	0	0.00%
(FIT電気)	-	-	0	0.00%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

供給開始が2022年3月22日からのため前年度の取り組み実績はなし。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
-	-	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

供給開始が2022年3月22日からのため前年度の取り組み実績はなし。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

供給開始が2022年3月22日からのため前年度の取り組み実績はなし。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

供給開始が2022年3月22日からのため前年度の取り組み実績はなし。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

供給開始が2022年3月22日からのため前年度の取り組み実績はなし。

6 メニュー別調整後CO₂排出係数等の値

項目	前々年度			前年度		
	調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)		調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)	
メニューA	-	-	-	-	-	-
メニューB	-	-	-	-	-	-
メニューC	-	-	-	-	-	-
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			

(メニュー別調整後CO₂排出係数等に係る取組実績)

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあつては名称及び代表者の氏名)	国際航業株式会社 代表取締役社長 土方 聡
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあつては主たる事務所の所在地)	東京都新宿区北新宿2丁目21番1号

(2) 事業の概要

発電事業の有無	☐ 有 ☒ 無
都内供給区分	☐ 特別高圧 ☒ 高圧 ☒ 低圧(電力) ☐ 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	再生可能エネルギー発電施設の開発・運営及び関連するコンサルティング、電力小売り事業

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称		カーボンニュートラル推進部 エネルギーインフラグループ
	連絡先	電 話 番 号	03-4476-8062
		ファクシミリ番号	03-5656-8695
		電子メールアドレス	kouri@kk-grp.jp
公 表 の 担当部署	名称		カーボンニュートラル推進部 エネルギーインフラグループ
	連絡先	電 話 番 号	03-4476-8062
		ファクシミリ番号	03-5656-8695
		電子メールアドレス	kouri@kk-grp.jp

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2022 年 08 月 01 日		～	2023 年 07 月 31 日	
公表方法	☐ ホームページで公表	アドレス:				
	☐ 窓口での閲覧	閲覧場所:				
		所在地:				
		閲覧可能時間				
	☐ 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
		入手方法:				
	☒ その他	お問い合わせに対し、個別に対応します。				

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	0.00	0.00

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.472	0.345	100.00%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	-	-	
調整後CO ₂ 排出係数	0.508	0.560	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

再生可能エネルギー発電事業者と交渉を実施。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	0	0.00%	0	19.25%
(FIT電気)	0	0.00%	0	19.25%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

再生可能エネルギー発電事業者と交渉を実施

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

特にありません。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

火力発電所を有しておりません。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

- 太陽光発電所の開発を継続し、小水力発電については発電所建設に向けた動きを継続して参ります。
- 需要家向けにシステム上で30分毎の使用電力量を公開し、省エネ意識の向上を促進して参ります。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

省エネ設備のリース事業やコンサルティングを実施しています。

6 メニュー別調整後CO₂排出係数等の値

項目	前々年度			前年度		
	調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)		調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)	
メニューA	-	-	-	-	-	-
メニューB	-	-	-	-	-	-
メニューC	-	-	-	-	-	-
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			

(メニュー別調整後CO₂排出係数等に係る取組実績)

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあっては名称及び代表者の氏名)	御所野縄文電力株式会社 代表取締役 小林直人
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあっては主たる事務所の所在地)	岩手県二戸郡一戸町岩館字田中65番地1

(2) 事業の概要

発電事業の有無	☐ 有 ☒ 無
都内供給区分	☐ 特別高圧 ☐ 高圧 ☐ 低圧(電力) ☒ 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	親会社である株式会社フジコーは千葉県白井市にバイオマス発電施設を所有しており、これは廃棄物を燃料としたバイオマス発電施設です。関連会社である株式会社一戸フォレストパワーは御所野縄文発電所を所有しており、これは未利用森林木材及び製材工場等残材を燃料としたバイオマス発電施設です。御所野縄文電力株式会社はこれらの発電施設と他の水力発電所等の自然エネルギー由来の電源を中心に使用して電気の供給を行っております。

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称		電力小売チーム
	連絡先	電 話 番 号	047-498-1690
		ファクシミリ番号	047-498-1692
		電子メールアドレス	ir@fujikoh-net.co.jp
公 表 の 担当部署	名称		電力小売チーム
	連絡先	電 話 番 号	047-498-1690
		ファクシミリ番号	047-498-1692
		電子メールアドレス	ir@fujikoh-net.co.jp

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2022 年 08 月 01 日 ~ 2023 年 07 月 31 日	
公表方法	☒ ホームページで公表	アドレス: https://www.fujikoh-net.co.jp/	
	☐ 窓口での閲覧	閲覧場所:	
		所在地:	
		閲覧可能時間	
	☐ 冊子(環境報告書等)	冊子名:	
	入手方法:		
	☐ その他		

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	0.00	0.00

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.035	0.030	100.00%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	0.000	0.000	
調整後CO ₂ 排出係数	0.404	0.440	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

FIT電源のみを調達しており、調整後排出係数を下げる具体的な対策はしていません。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	30	92.57%	45	92.96%
(FIT電気)	30	92.57%	45	92.96%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

現在、再生可能エネルギーの利用促進対策の取組を行っていません。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

未利用エネルギーの利用に関しまして取組は行っておりません。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

関連会社である株式会社一戸フォレストパワーの所有しているバイオマス発電所は燃料である未利用森林木材を利用しております。それを効率よく乾燥させて熱効率を上げるようにしております。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

ホームページに電源構成を掲載して自然エネルギー由来の電源割合を都内の需要家が確認できるようにしております。また、CO2の排出係数を経済産業省のホームページに掲載しており確認できるようにしております。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

弊社は自然エネルギー由来の電源を積極的に調達して、それを供給しております。

6 メニュー別調整後CO₂排出係数等の値

項目	前々年度			前年度		
	調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)		調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)	
メニューA	-	-	-	-	-	-
メニューB	-	-	-	-	-	-
メニューC	-	-	-	-	-	-
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			

(メニュー別調整後CO₂排出係数等に係る取組実績)

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあつては名称及び代表者の氏名)	コスモエネルギーソリューションズ株式会社 代表取締役社長 元田 英俊
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあつては主たる事務所の所在地)	東京都中央区日本橋浜町3丁目3番2

(2) 事業の概要

発電事業の有無	☒ 有 ☐ 無
都内供給区分	☐ 特別高圧 ☒ 高圧 ☒ 低圧(電力) ☒ 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	2014年4月より電力小売事業を開始。 東京エリアで開始し、2017年に東北、2018年に中部エリアへ参入 2019年4月以降は、全国(沖縄県除く)で小売事業を実施。 発電事業は、千葉印西と小豆島に各2000kWの太陽光発電所を所有 全量FIT販売を行っている。

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称		電力事業部
	連絡先	電 話 番 号	03-5642-8758
		ファクシミリ番号	03-5642-8742
		電子メールアドレス	ces-denki@cosmo-energy.co.jp
公 表 の 担当部署	名称		電力事業部
	連絡先	電 話 番 号	03-5642-8758
		ファクシミリ番号	03-5642-8742
		電子メールアドレス	ces-denki@cosmo-energy.co.jp

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2022 年 08 月 01 日		～	2023 年 07 月 31 日	
公表方法	☐ ホームページで公表	アドレス:				
	☒ 窓口での閲覧	閲覧場所: コスモエネルギーソリューションズ(株)本社				
		所在地: 東京都中央区日本橋浜町3丁目3番2号				
		閲覧可能時間 平日9:30～17:45				
	☐ 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
		入手方法:				
	☐ その他					

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	1.99	1.56

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.404	0.166	98.43%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	-	0.387	
調整後CO ₂ 排出係数	0.424	0.418	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

コスモグループ企業(コスモエコパワー)よりFIT電源特定卸契約による、トラッキング付非化石証書を購入し、需要家へグリーン電力の販売。

※排出係数未把握は、前年度排出係数を持たない新規参入事業者からの受電のため。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	262	5.31%	3,262	34.53%
(FIT電気)	262	5.31%	3,262	34.53%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

コスモグループ会社(コスモエコパワー)の調達量増加。
自社太陽光発電(FIT販売)の特定卸を計画中。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

特になし

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

特になし

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

自家消費型太陽光発電システム導入。蓄電池、グリーン電力販売。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

省エネ商材((LED照明、高効率エアコン、蓄電池)の販売

6 メニュー別調整後CO₂排出係数等の値

項目	前々年度			前年度		
	調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)		調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)	
メニューA	-	-	-	-	-	-
メニューB	-	-	-	-	-	-
メニューC	-	-	-	-	-	-
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			

(メニュー別調整後CO₂排出係数等に係る取組実績)

グループ会社のコスモエコパワー(風力発電由来)のトラッキング付非化石証書を購入し、実質再エネ電力(CO₂排出係数ゼロ)のグリーン電力メニューを策定・販売

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあっては名称及び代表者の氏名)	サーラeエナジー株式会社 代表取締役社長 松橋 正行
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあっては主たる事務所の所在地)	愛知県豊橋市駅前大通一丁目55番地 サーラタワー

(2) 事業の概要

発電事業の有無	☐ 有 ☒ 無
都内供給区分	☐ 特別高圧 ☒ 高圧 ☒ 低圧(電力) ☒ 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	・小売電気事業 一般のご家庭・店舗などの低圧、工場・オフィスビル・商業施設などの高圧電力顧客を対象に電力小売事業を行っています。

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称		総務
	連絡先	電 話 番 号	0532-34-3060
		ファクシミリ番号	0532-34-3061
		電子メールアドレス	salaenergy@sala.jp
公 表 の 担当部署	名称		総務
	連絡先	電 話 番 号	0532-34-3060
		ファクシミリ番号	0532-34-3061
		電子メールアドレス	salaenergy@sala.jp

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2022 年 08 月 01 日		～	2023 年 07 月 31 日	
公表方法	☐ ホームページで公表	アドレス:				
	☒ 窓口での閲覧	閲覧場所: サークルエナジー(株)受付				
		所在地: 愛知県豊橋市白河町100番地				
		閲覧可能時間 9:30～17:00				
	☐ 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
		入手方法:				
	☐ その他					

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	0.80	0.86

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.324	0.325	100.00%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	0.000	0.000	
調整後CO ₂ 排出係数	0.280	0.278	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

他社のバランシンググループに属しているため、代表契約者を通じて排出係数の低い電気事業者からの調達に努めました

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	60	2.43%	55	2.09%
(FIT電気)	60	2.43%	55	2.09%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

他社のバランシンググループに属しているため、代表契約者を通じて排出係数の低い電気事業者からの調達に努めました

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

他社のバランシンググループに属しているため、代表契約者を通じて自治体清掃工場における一般廃棄物発電、工場廃熱利用での発電などからの電力調達ができるよう努めました。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

自社にて火力発電所を有しておりません。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

- ・当社が運営するポータルサイトにて、お客さまの日別・時間別使用量に加え、曜日別・月別の平均使用量をグラフで表示し、お客さまの省エネ活動及び省エネ意識の向上を図りました。
- ・当社(または販売代理店)によるお客さま先への省エネ・節電の周知を実施しました。
- ・2022年9月1日より実質CO2フリー電力オプションメニューの販売を開始します。(申込は2022年8月1日より受付開始)

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

- ・自社における省エネ・節電に努めました。
- ・エコ運転の推進(無駄なアイドリングをやめる、急発進・急加速・急ブレーキをやめる等)等を推進しました。

6 メニュー別調整後CO₂排出係数等の値

項目	前々年度			前年度		
	調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)		調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)	
メニューA	-	-	-	-	-	-
メニューB	-	-	-	-	-	-
メニューC	-	-	-	-	-	-
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			

(メニュー別調整後CO₂排出係数等に係る取組実績)

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあっては名称及び代表者の氏名)	SustainableEnergy株式会社
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあっては主たる事務所の所在地)	福岡県福岡市中央区大名2丁目2-1 MIKIビル5F

(2) 事業の概要

発電事業の有無	☐ 有 ☒ 無
都内供給区分	☐ 特別高圧 ☒ 高圧 ☒ 低圧(電力) ☒ 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	日本全国(沖縄県及び離島を除く)の需要家様に電力供給している

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称		SustainableEnergy株式会社
	連絡先	電 話 番 号	092-753-8375
		ファクシミリ番号	092-753-8316
		電子メールアドレス	info@sustainableenergy.co.jp
公 表 の 担当部署	名称		SustainableEnergy株式会社
	連絡先	電 話 番 号	092-753-8375
		ファクシミリ番号	092-753-8316
		電子メールアドレス	info@sustainableenergy.co.jp

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2022 年 08 月 01 日		～	2023 年 07 月 31 日	
公表方法	☐ ホームページで公表	アドレス:				
	☐ 窓口での閲覧	閲覧場所:				
		所在地:				
		閲覧可能時間				
	☐ 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
		入手方法:				
	☒ その他	弊社までお問い合わせし回答				

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	-	0.08

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	-	0.454	100.00%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	-	-	
調整後CO ₂ 排出係数	-	0.440	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

CO2排出の少ない電力を調達できるよう努めております

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	-	-	0	0.00%
(FIT電気)	-	-	0	0.00%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

再生可能エネルギーの発電事業者との交渉

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
-	-	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

特にございません

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

所有しておりません

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

電力卸事業を行う事業者などを通じて再生可能エネルギーの電源を確保しCO2排出を削減していきます。
需要家様の電気使用量のグラフ等をマイページにて表示し見える化を行っています。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

特にございません

6 メニュー別調整後CO₂排出係数等の値

項目	前々年度			前年度		
	調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)		調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)	
メニューA	-	-	-	-	-	-
メニューB	-	-	-	-	-	-
メニューC	-	-	-	-	-	-
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			

(メニュー別調整後CO₂排出係数等に係る取組実績)

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあっては名称及び代表者の氏名)	株式会社サニックス 代表取締役 宗政 寛
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあっては主たる事務所の所在地)	福岡県福岡市博多区博多駅東2丁目1番23号

(2) 事業の概要

発電事業の有無	☐ 有 ☒ 無
都内供給区分	☐ 特別高圧 ☒ 高圧 ☒ 低圧(電力) ☒ 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	●小売電気事業 弊社は、北海道、東北、東京、中部、北陸、関西、中国、四国、九州エリアにて、電力の小売事業を行っております。

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称		株式会社サニックス 新電力事業部
	連絡先	電 話 番 号	092-436-8898
		ファクシミリ番号	092-233-1343
		電子メールアドレス	info_pps@sanix.jp
公 表 の 担当部署	名称		同上
	連絡先	電 話 番 号	同上
		ファクシミリ番号	同上
		電子メールアドレス	同上

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2022 年 08 月 01 日		～	2023 年 07 月 31 日	
公表方法	☐ ホームページで公表	アドレス:				
	☐ 窓口での閲覧	閲覧場所:				
		所在地:				
		閲覧可能時間				
	☐ 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
		入手方法:				
	☒ その他	担当部署へ問い合わせ				

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	1.84	4.39

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.524	0.468	100.00%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	-	-	
調整後CO ₂ 排出係数	0.629	0.525	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

排出係数削減に向けて、環境負荷の低い電力の調達に努めています。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	147	4.19%	0	0.00%
(FIT電気)	147	4.19%	0	0.00%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

FIT電気(太陽光)を調達していますが、今後も再生可能エネルギーによる電力の調達に努めています。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

未利用エネルギーについては利用していませんが、導入に向け適宜検討しております。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

火力発電所を所有していません。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

電力使用状況を各需要家に提供しています。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

電気使用量、紙使用量の削減に努めています。

6 メニュー別調整後CO₂排出係数等の値

項目	前々年度			前年度		
	調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)		調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)	
メニューA	-	-	-	-	-	-
メニューB	-	-	-	-	-	-
メニューC	-	-	-	-	-	-
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			

(メニュー別調整後CO₂排出係数等に係る取組実績)

非化石証書を購入しCO₂排出量の調整を行っています。

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあっては名称及び代表者の氏名)	サミットエナジー株式会社 代表取締役 小林 政司
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあっては主たる事務所の所在地)	東京都千代田区内神田2-3-4

(2) 事業の概要

発電事業の有無	☒ 有 ☐ 無
都内供給区分	☒ 特別高圧 ☒ 高圧 ☒ 低圧(電力) ☒ 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	・小売電気事業 弊社は、小売電気事業、特定送配電事業を営んでおります。2001年7月1日より、関西電力管内での小売を皮切りに、同年10月1日からは中部電力管内、2004年7月1日から東京電力管内、2005年7月1日から東北電力管内、2009年6月より九州電力管内、2015年3月より北海道電力管内、2017年1月より中国電力管内、2018年4月より北陸電力管内で、2018年9月より四国電力管内で小売電気事業を開始し現在に至っております。 ・発電事業 関連会社においては、発電事業を営んでおります。発電事業所の概要は以下の通りです。 ・サミット美浜パワー株式会社(千葉県千葉市) 57.5MW (火力:都市ガス) ・サミット明星パワー株式会社(新潟県糸魚川市) 50MW (火力:木屑/石炭) ・サミット小名浜エスパワー株式会社(福島県いわき市) 56MW (火力:石炭) ・サミット半田パワー株式会社(愛知県半田市) 75MW(木質バイオマス、石炭) ・サミット酒田パワー株式会社(山形県酒田市) 50MW(木質バイオマス、石炭)

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称	運用管理部
	電 話 番 号	03-6370-3310
	連絡先 ファクシミリ番号	03-6370-3311
	電子メールアドレス	summit@summit-energy.co.jp
公 表 の 担当部署	名称	運用管理部
	電 話 番 号	03-6370-3310
	連絡先 ファクシミリ番号	03-6370-3311
	電子メールアドレス	summit@summit-energy.co.jp

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2022 年 08 月 01 日 ~ 2023 年 07 月 31 日	
公表方法	☒ ホームページで公表	アドレス: https://www.summit-energy.co.jp/	
	☐ 窓口での閲覧	閲覧場所:	
		所在地:	
		閲覧可能時間	
	☐ 冊子(環境報告書等)	冊子名:	
	入手方法:		
	☐ その他		

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	144.14	151.65

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.426	0.457	100.00%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	0.279	0.280	
調整後CO ₂ 排出係数	0.444	0.452	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

・グループ会社であるサミット明星パワー(株)(木屑バイオマス発電所)より、再生可能エネルギーで発電された電気の調達。
 ・グループバイオマス発電所(愛知県半田市:2017年6月運転開始、山形県酒田市:2018年7月運転開始)からの電気の調達。
 ・非化石証書の購入(191,017,985kWh)による温対法調整後排出係数の低減。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	22,841	6.75%	13,523	4.07%
(FIT電気)	19,782	5.85%	11,743	3.54%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

・グループ会社であるサミット明星パワー(株)(木屑バイオマス発電所)より、再生可能エネルギーで発電された電気の調達。
 ・グループバイオマス発電所(愛知県半田市:2017年6月運転開始、山形県酒田市:2018年7月運転開始)からの電気の調達。
 ・非化石証書の購入(191,017,985kWh)。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
793	0.23%	38	0.01%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

前年度に引き続き、今年度も調達している廃棄物発電所において未利用エネルギーの活用をしておりますが、調達量が大幅に減少しております。今後も同様の取組を行っている発電所からの調達を検討しておりますが、当該発電所(主にごみ発)からの調達については競争環境が厳しくなっております。
また、非FIT非化石証書に環境価値が移り、電気から環境価値が分離された事で未利用エネルギーの把握が困難になっております。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

グループ会社で以下それぞれの取組を実施しております。
・サミット美浜パワー: 発電設備のDSS(日間起動停止)を採用しているが、運転中は極力定格出力に近い運転点において運用し発電効率向上を保つ取り組みを行っており、かつ蒸気を併給する事で総合効率の向上をはかっています。
また、更なる総合効率の向上に向け、発電設備の増設を実施し、平成28年1月より営業運転を開始しております。
・サミット明星パワー: バイオマス燃料の混焼比率を高める努力を継続的に行っており、バイオマス比率72.4%(前年度73.4%)と高い実績で運用できた。また、設備の安定運転に努めると共に、故障の再発防止に継続して取組み、ロスの減少に努めております。同発電所においても、東日本における供給力が逼迫する局面においては稼働率を上げる運用を行っております。
・サミット小名浜エスパワー: 東日本大震災で蒸気の供給先が被災したことにより総合効率が低下しておりますが、効率回復のために余剰蒸気を有効活用すべく蒸気タービンの増設工事を行っており、平成28年12月より営業運転を開始しております。
・サミット半田パワー: バイオマス比率は96.3%(前年度95.8%)と高い実績で運用できた。今後も継続して木質燃料の使用比率の向上を指向した運用を継続する。
・サミット酒田パワー: 計画通り2018年7月より営業運転を開始し、バイオマス比率は97.9%(前年度96.5%)と高

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

・需要家の皆様に、新エネルギー等についての情報や、その他地球温暖化対策推進のための情報を提供しております。
・一部需要家に対して電気の見える化サービス(30分毎の電気使用量をWEB上で確認できるサービス)の提供を開始しており、提供範囲を広げる方針で取り進めております。
・サミット明星パワーにて発生したグリーン電力環境価値の販売活動を行っております。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

・省エネルギー対策として、空調設定温度の管理、ノーネクタイの実施、夜間・休日のOA機器電源OFF・空調機器電源OFF等による電力量削減・空調負荷低減に取り組んでおります。
・本社オフィスの入ったビルへの電力供給を開始し、調達したFIT電気と非化石証書を組み合わせて実質CO2排出量ゼロの電気を供給した。その電気を使用することで事業活動に伴うCO2排出量の低減を行っております。

6 メニュー別調整後CO₂排出係数等の値

項目	前々年度			前年度		
	調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)		調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)	
メニューA	0.000	100.00%	100.00%	0.000	100.00%	100.00%
メニューB	-	-	-	-	-	-
メニューC	0.431	0.00%	0.00%	0.462	87.14%	11.27%
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			

(メニュー別調整後CO₂排出係数等に係る取組実績)

- ・本社オフィスの入ったビルへの電力供給を開始し、調達したFIT電気と非化石証書を組み合わせて実質CO₂排出量ゼロの電気を供給した。その電気を使用することで事業活動に伴うCO₂排出量の低減を行っています。
- ・メニュー別調整後CO₂排出係数を用いた低炭素・脱炭素電気の販売を実施しています。

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあつては名称及び代表者の 氏名)	株式会社Sanko IB 代表取締役 北川 省吾
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあつては主たる事務所の所在 地)	東京都港区芝1-5-9 住友不動産芝ビル2号館2階

(2) 事業の概要

発電事業の有無	☐ 有 ☒ 無
都内供給区分	☐ 特別高圧 ☒ 高圧 ☒ 低圧(電力) ☒ 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電 事業の概要も記載すること。)	■小売電気事業 2022年5月31日をもって事業撤退いたしました。 ■その他 照明、空調など建物の一元コントロールによるコスト削減の提案も行っています。

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称		株式会社Sanko IB
	連絡先	電 話 番 号	03-5730-2530
		ファクシミリ番号	
		電子メールアドレス	sankoib_electricity@sanko-ib.co.jp
公 表 の 担当部署	名称		株式会社Sanko IB
	連絡先	電 話 番 号	03-5730-2530
		ファクシミリ番号	
		電子メールアドレス	sankoib_electricity@sanko-ib.co.jp

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2022 年 08 月 01 日		～	2023 年 07 月 31 日	
公表方法	☐ ホームページで公表	アドレス:				
	☐ 窓口での閲覧	閲覧場所:				
		所在地:				
		閲覧可能時間				
	☐ 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
		入手方法:				
	☒ その他	担当部署で適宜開示します				

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	0.29	0.32

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.475	0.476	100.00%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	-	-	
調整後CO ₂ 排出係数	0.472	0.473	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

LED照明など省エネルギー商材とセットで提案し、平均10%削減。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	0	0.00%	0	0.00%
(FIT電気)	0	0.00%	0	0.00%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

再生可能エネルギーの利用なし、今後も再生エネルギーを利用検討ありません。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

未利用エネルギー等の利用はありません。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

火力発電所を所有していない

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

事業撤退の為無し

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

建物内の照明・空調・セキュリティ機器等のシステムを1つのネットワークで統合し、自動制御により、エネルギー消費量を削減し、全体の見える化・最適化を推進しています。

6 メニュー別調整後CO₂排出係数等の値

項目	前々年度			前年度		
	調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)		調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)	
メニューA	-	-	-	-	-	-
メニューB	-	-	-	-	-	-
メニューC	-	-	-	-	-	-
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			

(メニュー別調整後CO₂排出係数等に係る取組実績)

現状なし

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあっては名称及び代表者の氏名)	株式会社シーエナジー 代表取締役社長 安井 稔
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあっては主たる事務所の所在地)	愛知県名古屋市中区東桜一丁目13番3号

(2) 事業の概要

発電事業の有無	☒ 有 ☐ 無
都内供給区分	☒ 特別高圧 ☒ 高圧 ☐ 低圧(電力) ☐ 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	【電力小売販売事業】 弊社は卸元の「ダイヤモンドパワー株式会社」から電力を購入し、電力小売事業を行っています。 【電力発電事業】 再生可能エネルギー固定価格買取制度を活用した太陽光発電事業を実施しています。

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称		お客さまサービス課
	連絡先	電 話 番 号	052-950-3974
		ファクシミリ番号	052-950-3971
		電子メールアドレス	cenery.denki@cenery.co.jp
公 表 の 担当部署	名称		お客さまサービス課
	連絡先	電 話 番 号	052-950-3974
		ファクシミリ番号	052-950-3971
		電子メールアドレス	cenery.denki@cenery.co.jp

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2022 年 08 月 01 日		～	2023 年 07 月 31 日	
公表方法	☐ ホームページで公表	アドレス:				
	☐ 窓口での閲覧	閲覧場所:				
		所在地:				
		閲覧可能時間				
	☐ 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
		入手方法:				
	☒ その他	問い合わせの際は、メール・FAX 等により対応いたします。				

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	1.10	0.98

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.403	0.368	100.00%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	0.493	-	
調整後CO ₂ 排出係数	0.348	0.312	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

他社のバランシンググループに属しているため、代表契約者を通じて排出係数の低い電気事業者からの調達に努めました。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	0	0.00%	0	0.00%
(FIT電気)	0	0.00%	0	0.00%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

他社のバランシンググループに属しているため、代表契約者を通じて再生可能エネルギーによる発電からの購入に努めました。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

他社のバランシンググループに属しているため、代表契約者を通じて自治体清掃工場における一般廃棄物発電、工場廃熱利用での発電などからの電力調達が出来よう努めました。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

自社にて火力発電所を有していないため、熱効率向上の措置及び進捗はありません。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

- ・省エネ意識の向上、需要家に対して節電の呼びかけを行っています。
- ・お客様の省エネ意識に貢献できるようにホームページ等で電力使用量等のデータを提供しています。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

- ・本社での対策として、夏場のエアコン設定温度上げなど、節電に努めました。
- ・会社としては、自動車を保有せず、温室効果ガスの削減に努めました。
- ・オフィス内のPCについて、パワーセーブを励行しました。
- ・室内照明について、不要時は消灯するよう努めました。

6 メニュー別調整後CO₂排出係数等の値

項目	前々年度			前年度		
	調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)		調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)	
メニューA	-	-	-	-	-	-
メニューB	-	-	-	-	-	-
メニューC	-	-	-	-	-	-
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			

(メニュー別調整後CO₂排出係数等に係る取組実績)

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあっては名称及び代表者の氏名)	株式会社CDエナジーダイレクト 代表取締役社長 八木 貴央
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあっては主たる事務所の所在地)	東京都中央区日本橋室町四丁目5番1号

(2) 事業の概要

発電事業の有無	☐ 有 ☒ 無
都内供給区分	☒ 特別高圧 ☒ 高圧 ☒ 低圧(電力) ☒ 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	弊社は以下の事業を行っております。 ・電力・ガスの販売 ・エネルギーサービスの販売 ・暮らし及びビジネス全般を支えるサービスを中心とした付加価値サービスの販売

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称		計画部
	連絡先	電 話 番 号	03-6281-9581
		ファクシミリ番号	03-6281-9586
		電子メールアドレス	
公 表 の 担当部署	名称		計画部
	連絡先	電 話 番 号	03-6281-9581
		ファクシミリ番号	03-6281-9586
		電子メールアドレス	

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2022 年 08 月 01 日		～	2023 年 07 月 31 日	
公表方法	☐ ホームページで公表	アドレス:				
	☐ 窓口での閲覧	閲覧場所:				
		所在地:				
		閲覧可能時間				
	☐ 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
		入手方法:				
☒ その他	問合せの際は、メール・FAX等により対応致します。					

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	213.98	283.80

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.394	0.383	99.94%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	0.469	-	
調整後CO ₂ 排出係数	0.343	0.291	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

balancing groupとして、再生可能エネルギーの積極的な活用拡大および国の固定価格買取制度などに基づく再生可能エネルギーの着実な購入を行ってきました。
把握率が100%未満になっている理由は、前年度排出係数を持たない新規参入事業者からの受電を一部含むためです。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	0	0.00%	0	0.00%
(FIT電気)	0	0.00%	0	0.00%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

balancing groupとして、再生可能エネルギーの積極的な活用拡大および国の固定価格買取制度などに基づく再生可能エネルギーの着実な購入を行ってきました。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

balancing groupとして、廃棄物等の未利用エネルギーを利用して発電した電力を調達してきました。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

・balancing groupとして、契約先発電所の熱効率向上に向けて、より効率の良い運転・制御方法について働きかけて参りました。
・balancing groupとして、指令値にて稼動する契約発電所においては可能な範囲で高効率化運転となる(負荷率の高い)指令を指向するべく、働きかけて参りました。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

・お客さまの省エネ意識の向上に貢献できるよう、WEBによる使用電力量等のデータ提供を実施いたしております。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

① 社有車を持たない経営方針を継続しております。
② 本社オフィス内において、使用していない会議室の消灯や、冬場のオフィスを加湿し、空調の設定温度を低めにするなど、省エネ・節電に努めております。

6 メニュー別調整後CO₂排出係数等の値

項目	前々年度			前年度		
	調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)		調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)	
メニューA	-	-	-	-	-	-
メニューB	-	-	-	-	-	-
メニューC	-	-	-	-	-	-
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			

(メニュー別調整後CO₂排出係数等に係る取組実績)

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあっては名称及び代表者の氏名)	株式会社Shared Energy 代表取締役 山田 洋介
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあっては主たる事務所の所在地)	東京都中野区中野4-1-1 中野サンプラザ9階

(2) 事業の概要

発電事業の有無	☐ 有 ☒ 無
都内供給区分	☐ 特別高圧 ☒ 高圧 ☒ 低圧(電力) ☒ 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	・電力小売り事業 小規模工場、事務所ならびに飲食店や一般需要家への小売りを目的とした電力小売り事業を実施

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称		オペレーション担当
	連絡先	電 話 番 号	03-6859-7594
		ファクシミリ番号	
		電子メールアドレス	info@shared-energy.co.jp
公 表 の 担当部署	名称		株式会社Shared Energy
	連絡先	電 話 番 号	03-6859-7594
		ファクシミリ番号	
		電子メールアドレス	info@shared-energy.co.jp

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2022 年 08 月 01 日		～	2023 年 07 月 31 日	
公表方法	☐ ホームページで公表	アドレス:				
	☐ 窓口での閲覧	閲覧場所:				
		所在地:				
		閲覧可能時間				
	☒ 冊子(環境報告書等)	冊子名:	Shared Energy 環境レポート			
		入手方法:	オペレーション担当に問い合わせ			
	☐ その他					

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	0.39	0.48

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.475	0.462	100.00%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	-	-	
調整後CO ₂ 排出係数	0.500	0.474	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

比較的環境負荷が軽微な電源について相対契約を締結

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	0	0.00%	0	0.00%
(FIT電気)	0	0.00%	0	0.00%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

FIT切れ家庭用太陽光発電の電力購入に関して、プランを作成。
ただし、結果として太陽光発電を利用している顧客獲得ができなかった。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

なし

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

弊社は火力発電所を保有していません

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

需要家に対して、環境負荷が軽微な相対電源を調達している旨を通知

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

環境負荷が軽微な相対電源を調達

6 メニュー別調整後CO₂排出係数等の値

項目	前々年度			前年度		
	調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)		調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)	
メニューA	-	-	-	-	-	-
メニューB	-	-	-	-	-	-
メニューC	-	-	-	-	-	-
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			

(メニュー別調整後CO₂排出係数等に係る取組実績)

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあつては名称及び代表者の 氏名)	新会社名:株式会社エネウィル 代表取締役社長 坂根 多加弘 旧会社名:JAG国際エナジー株式会社 代表取締役社長 坂根 多加弘(2022年9 月30日迄)
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあつては主たる事務所の所在 地)	東京都千代田区丸の内三丁目1番1号国際ビル

(2) 事業の概要

発電事業の有無	☐ 有 ☒ 無
都内供給区分	☐ 特別高圧 ☒ 高圧 ☒ 低圧(電力) ☒ 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電 事業の概要も記載すること。)	【エネルギー関連事業】 再生可能エネルギー発電施設の開発、EPC(設計・調達・建設)、O&M(運営管 理)、及び関連するコンサルティング、新電力事業、アセット／ファンドマネジメント。 【地域創生関連事業】 地域エネルギー事業、電力小売、省エネソリューション。

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称		地域創生部
	連絡先	電 話 番 号	03-4476-8054
		ファクシミリ番号	03-3217-1811
		電子メールアドレス	info_denryoku@jagenergy.jp
公 表 の 担当部署	名称		地域創生部
	連絡先	電 話 番 号	03-4476-8054
		ファクシミリ番号	03-3217-1811
		電子メールアドレス	info_denryoku@jagenergy.jp

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2022 年 08 月 01 日		～	2023 年 07 月 31 日	
公表方法	☐ ホームページで公表	アドレス:				
	☐ 窓口での閲覧	閲覧場所:				
		所在地:				
		閲覧可能時間				
	☐ 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
		入手方法:				
	☒ その他	お問合せに対し、個別に対応します。				

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	6.19	5.91

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.445	0.487	100.00%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	-	-	
調整後CO ₂ 排出係数	0.502	0.500	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

再生可能エネルギー発電事業者と交渉を実施。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	736	5.29%	0	0.00%
(FIT電気)	736	5.29%	0	0.00%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

再生可能エネルギー発電事業者と交渉を実施。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

特にございません。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

火力発電所の保有はございません。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

・太陽光発電所の開発を継続し、バイオマス発電所、風力発電所については発電所建設に向けた動きを継続して参ります。
・需要家向けにシステム上で30分毎の使用電力量を公開し、省エネ意識の向上を促進して参ります。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

・太陽光開発グループ、風力グループ、バイオマスグループを設置しており、今後も再生エネルギー発電事業を推進して参ります。
・オフィスの節電・空調の温度設定。クールビズを実施しています。

6 メニュー別調整後CO₂排出係数等の値

項目	前々年度			前年度		
	調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)		調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)	
メニューA	-	-	-	-	-	-
メニューB	-	-	-	-	-	-
メニューC	-	-	-	-	-	-
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			

(メニュー別調整後CO₂排出係数等に係る取組実績)

実績なし

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあつては名称及び代表者の氏名)	株式会社ジェイコム湘南・神奈川 代表取締役社長 原 清
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあつては主たる事務所の所在地)	神奈川県横須賀市平成町1-1

(2) 事業の概要

発電事業の有無	☐ 有 ☒ 無
都内供給区分	☐ 特別高圧 ☐ 高圧 ☒ 低圧(電力) ☒ 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	関東地区の一部地域においてケーブルテレビ、インターネット、電話、モバイル、電力事業を展開しております。

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称		JCOM株式会社 エネルギー事業推進部
	連絡先	電 話 番 号	03-6365-8035
		ファクシミリ番号	03-6365-8083
		電子メールアドレス	ML_JCOM_DENRYOKU@jupiter.jcom.co.jp
公 表 の 担当部署	名称		JCOM株式会社 エネルギー事業推進部
	連絡先	電 話 番 号	03-6365-8035
		ファクシミリ番号	03-6365-8083
		電子メールアドレス	ML_JCOM_DENRYOKU@jupiter.jcom.co.jp

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2022 年 08 月 01 日		～	2023 年 07 月 31 日	
公表方法	☐ ホームページで公表	アドレス:				
	☐ 窓口での閲覧	閲覧場所:				
		所在地:				
		閲覧可能時間				
	☐ 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
		入手方法:				
	☒ その他	担当部署にて問い合わせ対応				

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	12.69	15.41

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.393	0.424	100.00%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	-	-	
調整後CO ₂ 排出係数	0.452	0.464	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

FIT電気の調達について、仕入れ先における他社ならびにJEPX等への卸販売割合が増加した結果、全電源排出係数はわずかに高くなっております。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	4,730	14.66%	3,859	10.61%
(FIT電気)	4,730	14.66%	3,859	10.61%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

FIT電気の調達について、仕入れ先における他社ならびにJEPX等への卸販売割合が増加した結果、利用量・利用率ともに減少しております。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

前年度は、未利用エネルギー等の調達はありませんでした。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

当社は火力発電所を保有しておりません。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

「J:COMグリーンプログラム」を実施しております。
「J:COMグリーンプログラム」とは、当社へお支払いいただく電気料金の一部を、森林保護活動に充てるプログラムです。「J:COM電力家庭用コース」の加入者数に応じて「CO2吸収量クレジット」を当社が購入することで、その売上が森林を守る活動に使われる仕組みとなっています(1世帯につき約5平方メートルの森林を1年間にわたって守ることができます)。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

自社設備の省エネ推進、環境負荷が低い営業車両を採用する等の環境負荷削減への取組を行っております。

6 メニュー別調整後CO₂排出係数等の値

項目	前々年度			前年度		
	調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)		調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)	
メニューA	-	-	-	-	-	-
メニューB	-	-	-	-	-	-
メニューC	-	-	-	-	-	-
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			

(メニュー別調整後CO₂排出係数等に係る取組実績)

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあつては名称及び代表者の氏名)	株式会社ジェイコム千葉 代表取締役社長 千田 貞文
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあつては主たる事務所の所在地)	千葉県浦安市入船1-5-2 NBF新浦安タワー17F

(2) 事業の概要

発電事業の有無	☐ 有 ☒ 無
都内供給区分	☐ 特別高圧 ☐ 高圧 ☒ 低圧(電力) ☒ 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	関東地区の一部地域においてケーブルテレビ、インターネット、電話、モバイル、電力事業を展開しております。

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称		JCOM株式会社 エネルギー事業推進部
	連絡先	電 話 番 号	03-6365-8035
		ファクシミリ番号	03-6365-8083
		電子メールアドレス	ML_JCOM_DENRYOKU@jupiter.jcom.co.jp
公 表 の 担当部署	名称		JCOM株式会社 エネルギー事業推進部
	連絡先	電 話 番 号	03-6365-8035
		ファクシミリ番号	03-6365-8083
		電子メールアドレス	ML_JCOM_DENRYOKU@jupiter.jcom.co.jp

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2022 年 08 月 01 日		～	2023 年 07 月 31 日	
公表方法	☐ ホームページで公表	アドレス:				
	☐ 窓口での閲覧	閲覧場所:				
		所在地:				
		閲覧可能時間				
	☐ 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
		入手方法:				
	☒ その他	担当部署にて問い合わせ対応				

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	8.86	10.68

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.393	0.424	100.00%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	-	-	
調整後CO ₂ 排出係数	0.452	0.464	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

FIT電気の調達について、仕入れ先における他社ならびにJEPX等への卸販売割合が増加した結果、全電源排出係数はわずかに高くなっております。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	3,304	14.66%	2,674	10.61%
(FIT電気)	3,304	14.66%	2,674	10.61%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

FIT電気の調達について、仕入れ先における他社ならびにJEPX等への卸販売割合が増加した結果、利用量・利用率ともに減少しております。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

前年度は、未利用エネルギー等の調達はありませんでした。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

当社は火力発電所を保有しておりません。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

「J:COMグリーンプログラム」を実施しております。
「J:COMグリーンプログラム」とは、当社へお支払いいただく電気料金の一部を、森林保護活動に充てるプログラムです。「J:COM電力家庭用コース」の加入者数に応じて「CO2吸収量クレジット」を当社が購入することで、その売上が森林を守る活動に使われる仕組みとなっています(1世帯につき約5平方メートルの森林を1年間にわたって守ることができます)。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

自社設備の省エネ推進、環境負荷が低い営業車両を採用する等の環境負荷削減への取組を行っております。

6 メニュー別調整後CO₂排出係数等の値

項目	前々年度			前年度		
	調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)		調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)	
メニューA	-	-	-	-	-	-
メニューB	-	-	-	-	-	-
メニューC	-	-	-	-	-	-
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			

(メニュー別調整後CO₂排出係数等に係る取組実績)

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあっては名称及び代表者の氏名)	株式会社ジェイコム東京 代表取締役社長 國分 孝夫
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあっては主たる事務所の所在地)	東京都練馬区桜台1-1-6

(2) 事業の概要

発電事業の有無	☐ 有 ☒ 無
都内供給区分	☐ 特別高圧 ☐ 高圧 ☒ 低圧(電力) ☒ 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	関東地区の一部地域においてケーブルテレビ、インターネット、電話、モバイル、電力事業を展開しております。

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称		JCOM株式会社 エネルギー事業推進部
	連絡先	電 話 番 号	03-6365-8035
		ファクシミリ番号	03-6365-8083
		電子メールアドレス	ML_JCOM_DENRYOKU@jupiter.jcom.co.jp
公 表 の 担当部署	名称		JCOM株式会社 エネルギー事業推進部
	連絡先	電 話 番 号	03-6365-8035
		ファクシミリ番号	03-6365-8083
		電子メールアドレス	ML_JCOM_DENRYOKU@jupiter.jcom.co.jp

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2022 年 08 月 01 日		～	2023 年 07 月 31 日	
公表方法	☐ ホームページで公表	アドレス:				
	☐ 窓口での閲覧	閲覧場所:				
		所在地:				
		閲覧可能時間				
	☐ 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
		入手方法:				
	☒ その他	担当部署にて問い合わせ対応				

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	324.01	391.00

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.393	0.424	100.00%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	-	-	
調整後CO ₂ 排出係数	0.452	0.436	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

FIT電気の調達について、仕入れ先における他社ならびにJEPX等への卸販売割合が増加した結果、全電源排出係数はわずかに高くなっております。
また、非化石証書を購入し、調整後排出係数の低減に努めました。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	120,775	14.66%	97,939	10.61%
(FIT電気)	120,775	14.66%	97,939	10.61%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

FIT電気の調達について、仕入れ先における他社ならびにJEPX等への卸販売割合が増加した結果、利用量・利用率ともに減少しております。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

前年度は、未利用エネルギー等の調達はありませんでした。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

当社は火力発電所を保有しておりません。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

「J:COMグリーンプログラム」を実施しております。
「J:COMグリーンプログラム」とは、当社へお支払いいただく電気料金の一部を、森林保護活動に充てるプログラムです。「J:COM電力家庭用コース」の加入者数に応じて「CO2吸収量クレジット」を当社が購入することで、その売上が森林を守る活動に使われる仕組みとなっています(1世帯につき約5平方メートルの森林を1年間にわたって守ることができます)。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

自社設備の省エネ推進、環境負荷が低い営業車両を採用する等の環境負荷削減への取組を行っております。

6 メニュー別調整後CO₂排出係数等の値

項目	前々年度			前年度		
	調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)		調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)	
メニューA	-	-	-	-	-	-
メニューB	-	-	-	-	-	-
メニューC	-	-	-	-	-	-
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			

(メニュー別調整後CO₂排出係数等に係る取組実績)

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあっては名称及び代表者の氏名)	株式会社JTBコミュニケーションデザイン 代表取締役 古野 浩樹
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあっては主たる事務所の所在地)	東京都港区芝三丁目23番1号

(2) 事業の概要

発電事業の有無	☐ 有 ☒ 無
都内供給区分	☐ 特別高圧 ☒ 高圧 ☐ 低圧(電力) ☐ 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	弊社は2017年5月1日より地域の主に観光・宿泊・レジャー施設などの観光関連の事業者及び地方創生の主体である自治体を主たる対象として、電力供給を開始しています。安定した電力の供給と電気料金の削減を実現するため、2016年4月から約1年間かけて、電力販売のための営業体制と電力の使用量予測、電力の仕入などをおこなう需給管理体制を確立し、需要家が安心して低価にて利用できる事業体制を構築してきました。2016年6月3日に小売電気事業者として登録(登録番号A0306)を受けた後、約300施設の過去の電力利用状況をもとに電気料金の削減シミュレーションを実施し、2021年7月現在で全国百数十施設様への電力供給(電力小売り事業)を行っています。お取引いただいた需要家様へは電気の無料相談窓口を設置しており無償にて電気診断から省エネ施策まで相談を受け付けております。また、2021年度よりグリーン電力証書の発行事業者として登録し、サービスを行っています。

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称	事業共創部ソーシャルビジネス局ソーシャルビジネス課
	電 話 番 号	03-5657-0622
	連絡先 ファクシミリ番号	03-5657-0644
	電子メールアドレス	energy@jtbcom.co.jp
公 表 の 担当部署	名称	事業共創部ソーシャルビジネス局ソーシャルビジネス課
	電 話 番 号	03-5657-0622
	連絡先 ファクシミリ番号	
	電子メールアドレス	denki@jtbcom.co.jp

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2022 年 08 月 01 日		～	2023 年 07 月 31 日	
公表方法	☒ ホームページで公表	アドレス: https://www.jtbcom.co.jp/company/sustainability/				
	☐ 窓口での閲覧	閲覧場所:				
		所在地:				
		閲覧可能時間				
	☐ 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
		入手方法:				
	☐ その他					

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	1.59	1.34

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.422	0.525	100.00%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	-	-	
調整後CO ₂ 排出係数	0.383	0.480	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

非化石証書購入による実質排出係数削減のメニューを開発中

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	0	0.00%	0	0.00%
(FIT電気)	0	0.00%	0	0.00%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

再生可能エネルギーを供給すべく前向きに検討中です

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

現在は未利用エネルギー等を利用した発電利用なし。今後利用に向けて検討中です。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

火力発電所を所有していません。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

電気診断や省エネに対する窓口の設置をはじめ、『お客様マイページ』をWEB内に設置し使用量の確認や需要家へのお知らせを即時可能にしました。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

JTBグループは持続可能な循環型社会の実現を目指し、地球環境の保護に向けた取り組みを推進しています。

JTBグループ環境宣言

私たちは、かけがえのない地球環境を慈しみ、
地球環境保全への最大限の配慮に務めることを基本理念として、
ツーリズムに関わる企業活動を誠実に推進することにより
持続可能な循環型社会の実現を目指します。

『自然環境・歴史的遺産・人々の織りなす文化など、地球上のかけがえのない資源を大切にします。』
この文言を記したThe JTB Wayを社員ひとりひとりが常に携帯し、常に意識することを心がけています。
また、2021年度よりグリーン電力証書の発行事業者となるのと同時に『CO2ゼロMICE』と銘打ち全国のホテルやイベント会場などに証書を活用したCO2を排出を実質低減するし施策を開始いたしました。

6 メニュー別調整後CO₂排出係数等の値

項目	前々年度			前年度		
	調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)		調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)	
メニューA	-	-	-	-	-	-
メニューB	-	-	-	-	-	-
メニューC	-	-	-	-	-	-
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			

(メニュー別調整後CO₂排出係数等に係る取組実績)

非化石証書を活用した実質CO₂排出ゼロにするメニューを開発中

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあっては名称及び代表者の氏名)	JPエネルギー株式会社 代表取締役 山本 健之
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあっては主たる事務所の所在地)	愛知県名古屋市中村区名駅四丁目6番23号

(2) 事業の概要

発電事業の有無	☐ 有 ☒ 無
都内供給区分	☐ 特別高圧 ☐ 高圧 ☒ 低圧(電力) ☒ 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	弊社は、主に中小企業、店舗など個人事業主向けの低圧電力の小売を目的とした電力事業を実施しています。 法人・個人宅問わずに安定したエネルギーを低価格で供給するため、それぞれに特化したサービス、料金プランをご用意しております。

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称		新電力推進事業部
	連絡先	電 話 番 号	052-559-5492
		ファクシミリ番号	052-559-5493
		電子メールアドレス	yamamoto@jp-ene.com
公 表 の 担当部署	名称		新電力推進事業部
	連絡先	電 話 番 号	052-559-5492
		ファクシミリ番号	052-559-5493
		電子メールアドレス	yamamoto@jp-ene.com

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2022 年 08 月 01 日		～	2023 年 07 月 31 日	
公表方法	☐ ホームページで公表	アドレス:				
	☐ 窓口での閲覧	閲覧場所:				
		所在地:				
		閲覧可能時間				
	☐ 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
		入手方法:				
	☒ その他	担当部署へ問い合わせ				

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	2.18	1.75

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.466	0.476	100.00%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	-	-	
調整後CO ₂ 排出係数	0.472	0.521	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

削減に向けた対策として、再生可能エネルギーの調達を視野に入れておりますが、2021年度は調達実績なし。市場調達以外の電源確保を直近の課題に検討を続ける方針です。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	0	0.00%	0	0.00%
(FIT電気)	0	0.00%	0	0.00%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

2021年度の再生可能エネルギーの調達実績はありません。
引き続き、近年中に再生可能エネルギーの調達を視野に入れて検討を続ける方針です。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

未利用エネルギーに関する調達実績はありません。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

火力発電所の所有はありません。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

お客様ページにて、30分値の確認が出来るように実装。
お客様へ省エネ意識を持ってもらうためのアプローチ及び、マイページの説明に注力しております。
マイページのログイン状況が80%を超え、随時電気使用量が確認できる方法の訴求という点では順調に推移いたしました。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

2021年度は、取り組み実績なし。

6 メニュー別調整後CO₂排出係数等の値

項目	前々年度			前年度		
	調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)		調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)	
メニューA	-	-	-	-	-	-
メニューB	-	-	-	-	-	-
メニューC	-	-	-	-	-	-
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			

(メニュー別調整後CO₂排出係数等に係る取組実績)

2021年度は、取り組み実績なし。

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあつては名称及び代表者の氏名)	シェルエナジー株式会社 代表取締役社長: 吉田 康子
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあつては主たる事務所の所在地)	東京都千代田区丸の内1丁目11番1号 パシフィックセンチュリープレイス丸の内12階

(2) 事業の概要

発電事業の有無	☐ 有 ☒ 無
都内供給区分	☒ 特別高圧 ☒ 高圧 ☐ 低圧(電力) ☐ 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	電力小売事業:弊社は、工場やビルの需要家などへ小売りを目的とした電力小売り事業を実施しております。

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称		シェルエナジージャパン
	連絡先	電 話 番 号	03-3218-1877
		ファクシミリ番号	03-3218-1777
		電子メールアドレス	shellenergyjapan@shell.com
公 表 の 担当部署	名称		シェルエナジージャパン
	連絡先	電 話 番 号	03-3218-1877
		ファクシミリ番号	03-3218-1777
		電子メールアドレス	shellenergyjapan@shell.com

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2022 年 08 月 31 日		～	2023 年 07 月 31 日	
公表方法	☐ ホームページで公表	アドレス:				
	☒ 窓口での閲覧	閲覧場所: 弊社事務所書棚スペース				
		所在地: 東京都千代田区丸の内1丁目11番1号 パシフィックセンチュリープレイス丸の内12F				
		閲覧可能時間 9:00-17:30				
	☒ 冊子(環境報告書等)	冊子名: 環境報告書				
		入手方法: 広報への担当部署へのお問い合わせ				
	☐ その他					

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	0.00	1.24

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.000	0.325	100.00%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	-	-	
調整後CO ₂ 排出係数	0.000	0.275	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

非化石証書の調達等

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	0	0.00%	0	0.00%
(FIT電気)	0	0.00%	0	0.00%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

現在は再生可能エネルギーの発電設備を所有していないが開発中である。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

未利用エネルギーを利用していない

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

火力発電所を所有していない

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

特になし

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

東京電力エリア外にて非化石証書を活用した低CO2排出係数メニューの電気を販売している

6 メニュー別調整後CO₂排出係数等の値

項目	前々年度			前年度		
	調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)		調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)	
メニューA	-	-	-	-	-	-
メニューB	-	-	-	-	-	-
メニューC	-	-	-	-	-	-
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			

(メニュー別調整後CO₂排出係数等に係る取組実績)

メニュー別排出係数が無いので取り組みも特になし。

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあつては名称及び代表者の 氏名)	株式会社シグナストラスト 代表取締役 塚本 州
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあつては主たる事務所の所在 地)	東京都目黒区目黒1丁目6-17 Daiwa 目黒スクエア 9F

(2) 事業の概要

発電事業の有無	☐ 有 ☒ 無
都内供給区分	☐ 特別高圧 ☐ 高圧 ☒ 低圧(電力) ☒ 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電 事業の概要も記載すること。)	電力小売事業 弊社は、小規模な店舗やオフィス、個人のお客様などへの小売を目的とした電力 小売事業を実施しています。□

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称		エビス電力事業部
	連絡先	電 話 番 号	03-6452-2968
		ファクシミリ番号	03-6452-2978
		電子メールアドレス	info@ebisudenryoku.com
公 表 の 担当部署	名称		エビス電力事業部
	連絡先	電 話 番 号	03-6452-2968
		ファクシミリ番号	03-6452-2978
		電子メールアドレス	info@ebisudenryoku.com

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2022 年 11 月 25 日		～	2023 年 07 月 31 日	
公表方法	☒ ホームページで公表	アドレス: https://ebisudenryoku.com/				
	☐ 窓口での閲覧	閲覧場所:				
		所在地:				
		閲覧可能時間				
	☐ 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
		入手方法:				
☐ その他						

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	2.89	1.77

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.470	0.351	100.00%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	-	-	
調整後CO ₂ 排出係数	0.415	0.295	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

自社デマンドレスポンスで10%の需要家参加。最大で昨年対比22%の節電達成で排出係数の削減に務めた

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	0	0.00%	0	0.00%
(FIT電気)	0	0.00%	0	0.00%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

現状取り組みなし

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

取り組みなし

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

所有なし

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

- ・30分毎の使用量が可能なマイページ運用の促進
- ・当社グループ会社と連携してお客様の省エネ診断を実施することを検討しております。→実施できず

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

(昨年度)節電が排出削減に繋がることから、昼休みや休憩時間等は消灯し、夏の冷房需要期にはクールビズを採用することで節電に努めます
(今年度)
需要家に節電チャレンジを自社で行い10%程参加していただき、地球温暖化対策に務めた

6 メニュー別調整後CO₂排出係数等の値

項目	前々年度			前年度		
	調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)		調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)	
メニューA	-	-	-	-	-	-
メニューB	-	-	-	-	-	-
メニューC	-	-	-	-	-	-
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			

(メニュー別調整後CO₂排出係数等に係る取組実績)

とくになし

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあっては名称及び代表者の氏名)	四国電力株式会社 取締役社長 社長執行役員 長井 啓介
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあっては主たる事務所の所在地)	〒760-8573 香川県高松市丸の内2番5号

(2) 事業の概要

発電事業の有無	☒ 有 ☐ 無
都内供給区分	☒ 特別高圧 ☒ 高圧 ☒ 低圧(電力) ☒ 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	■資本金:1455億円(2021年度末) ■サービス区域:四国エリア(徳島県、高知県、愛媛県(一部を除く)、香川県(一部を除く))、東京エリア(茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県、静岡県(富士川以东))、関西エリア(大阪府、京都府、奈良県、滋賀県、和歌山県、兵庫県(赤穂市福浦を除く)、福井県(三方郡美浜町以西)、三重県(熊野市の一部、南牟婁郡紀宝町、南牟婁郡御浜町)、岐阜県(不破郡関ヶ原町の一部))における電気の供給。 ■発電設備(2021年度末) ・水力発電所 : 57箇所 1,153千kW ・火力発電所 : 4箇所 3,235千kW ・原子力発電所 : 1箇所 890千kW ・太陽光発電所 : 1箇所 2千kW <合計>63箇所 5,280千kW ■契約口数:2,561千口(2021年度末) ■取締役社長 社長執行役員:長井 啓介

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称		四国電力株式会社 総合企画室 経営企画部 需給・温暖化対策グループ
	連絡先	電 話 番 号	087-821-5061
		ファクシミリ番号	087-825-3018
		電子メールアドレス	ondankataisaku@yonden.co.jp
公 表 の 担当部署	名称		四国電力株式会社 総合企画室 経営企画部 需給・温暖化対策グループ
	連絡先	電 話 番 号	087-821-5061
		ファクシミリ番号	087-825-3018
		電子メールアドレス	ondankataisaku@yonden.co.jp

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2022 年 07 月 29 日		～	2023 年 07 月 31 日	
公表方法	☐ ホームページで公表	アドレス:				
	☐ 窓口での閲覧	閲覧場所:				
		所在地:				
		閲覧可能時間				
	☐ 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
		入手方法:				
☒ その他	電話またはFAXにてご連絡いただければ対応いたします。					

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	91.19	102.02

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.554	0.489	100.00%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	0.719	0.747	
調整後CO ₂ 排出係数	0.574	0.533	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

○伊方発電所の安全・安定運転、火力発電所の熱効率の維持・向上、再生可能エネルギーの活用などに取り組み、CO₂排出係数の極力低減に努めています。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	34,464	20.93%	38,029	18.24%
(FIT電気)	17,823	10.82%	18,895	9.06%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

○当社は、次のような方策に取り組むことで再生可能エネルギーを極力活用しています。
 ・水力発電所の設備更新の機会を捉えた、高効率水車を採用することで発電効率の向上による、出力増強
 ・再生可能エネルギー電源の新規開発
 ・太陽光・風力などの電力購入

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
6,375	3.87%	5,982	2.87%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

○当社は副生ガス、廃棄物等の未利用エネルギーを利用した発電を極力活用しています。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

○日頃の機器の点検・補修や運転管理を適切に行うとともに、既存の火力発電設備を高効率の発電設備に更新(西条発電所1号機:2023年)するなど、熱効率の維持・向上に努めています。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

○当社は、ホームページやパンフレット、当社の会員制無料Webサイト「よんでんコンシェルジュ」等を通じて、省エネ情報の提供などを積極的に行っております。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

○オフィスの電気使用量の削減に取り組んでいます。
○電気自動車・プラグインハイブリッド車を含む低公害車率の向上に取り組んでいます。
○廃棄物の削減・有効利用に取り組んでいます。
○エネルギー利用に関するコンサルティング活動やヒートポンプ蓄熱システムの普及拡大などに取り組み、省エネルギーを推進しています。
○SF6ガスやフロンガスなどCO2以外の温室効果ガスについても、排出抑制に努めています。
○CO2回収・貯留(CCS)、水素・アンモニア関連技術などの地球温暖化対策技術の調査・研究に取り組んでいます。

6 メニュー別調整後CO₂排出係数等の値

項目	前々年度			前年度		
	調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)		調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)	
メニューA	-	-	-	-	-	-
メニューB	-	-	-	-	-	-
メニューC	0.574	20.93%	17.14%	-	-	-
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			

(メニュー別調整後CO₂排出係数等に係る取組実績)

○伊方発電所の安全・安定運転、火力発電所の熱効率の維持・向上、再生可能エネルギーの活用などに取り組み、CO₂排出係数の極力低減に努めています。

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあっては名称及び代表者の氏名)	自然電力株式会社 代表取締役 磯野 謙
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあっては主たる事務所の所在地)	福岡県福岡市中央区荒戸1-1-6

(2) 事業の概要

発電事業の有無	☒ 有 ☐ 無
都内供給区分	☐ 特別高圧 ☒ 高圧 ☒ 低圧(電力) ☒ 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	自然電力グループは「青い地球を未来につなぐ。」というPurpose(存在意義)のもと、太陽光・風力・水力等の自然エネルギー発電所の開発・建設から電力小売までのサービスをワンストップで提供をしており、持続可能な社会の構築に向けて積極的に活動する企業様・一般消費者様のニーズにお応えします。 事業内容： 自然電力株式会社では、太陽光・風力・小水力等の自然エネルギー発電所の発電事業(IPP)、事業開発・資金調達、アセットマネジメント、個人・法人向け電力小売事業等を行っています。 また、グループ会社であるjuwi(ユーイ)自然電力株式会社・juwi自然電力オペレーション株式会社では、太陽光や風力等、自然エネルギー発電所のEPC(設計・調達・建設)、O&M(運営・保守)等を行っています。

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称		エナジーデザイン部
	連絡先	電 話 番 号	03-3868-3391
		ファクシミリ番号	03-3868-2455
		電子メールアドレス	se_retail_operation@shizenenergy.net
公 表 の 担当部署	名称		エナジーデザイン部
	連絡先	電 話 番 号	03-3868-3391
		ファクシミリ番号	03-3868-2455
		電子メールアドレス	se_retail_operation@shizenenergy.net

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2022 年 08 月 01 日		～	2023 年 07 月 31 日	
公表方法	☐ ホームページで公表	アドレス:				
	☒ 窓口での閲覧	閲覧場所: 自然電力株式会社東京オフィス				
		所在地: 東京都文京区本郷5-33-10				
		閲覧可能時間 平日 9:00～18:00(年末年始除く)				
	☐ 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
		入手方法:				
	☐ その他					

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量 (単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	6.22	3.19

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況 (単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.425	0.378	100.00%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	-	-	
調整後CO ₂ 排出係数	0.274	0.000	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

2021年度の販売電力量に関しては、非化石価値取引市場で非化石証書(FIT)を購入することにより、低い「CO₂ 排出係数(調整後)」の電気を実現しています。
なお、慢性的な市場価格の高騰に伴い、2022年11月末をもって電力小売事業を終了することが決まりました。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	1,531	10.45%	809	9.57%
(FIT電気)	1,531	10.45%	809	9.57%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

現在東京電力エリアでは、自然電力グループが作った太陽光発電所(FIT)から電気を調達し、供給しています。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

実績はございません。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

火力発電所は所有しておりません。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

・環境経営/企業活動、国際イニシアティブ「RE100」に関するCO2削減に興味・関心のある都内事業者様へのご支援を行っています。
・各種講演・セミナー・イベントなどで、自然エネルギー100%の社会実現に向けた啓もう活動を行っております。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

・弊社の行動指針には、「地球を楽しもう」「地球の未来に責任を持とう」などがあります。
これらを体現すべく、空調設定温度28℃(夏季)及び19℃(冬季)の徹底などオフィスでの対策はもちろんのこと、「海部山部」といった自然を楽しむ活動を通して、自然電力グループ社員自身が、地球温暖化および自然エネルギー100%社会に向けた気づきを得るような場を設けています。

6 メニュー別調整後CO₂排出係数等の値

項目	前々年度			前年度		
	調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)		調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)	
メニューA	-	-	-	-	-	-
メニューB	-	-	-	-	-	-
メニューC	-	-	-	-	-	-
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			

(メニュー別調整後CO₂排出係数等に係る取組実績)

弊社ではメニューごとに非化石証書を充てる割合を変化させることで、調整後CO₂排出係数を下げる取り組みを行っています。

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあっては名称及び代表者の氏名)	株式会社シナジアパワー 取締役社長 会田 喜之
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあっては主たる事務所の所在地)	東京都台東区北上野1-9-12 住友不動産上野ビル7F

(2) 事業の概要

発電事業の有無	☐ 有 ☒ 無
都内供給区分	☒ 特別高圧 ☒ 高圧 ☐ 低圧(電力) ☐ 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	◆電力小売事業 関東圏の 高圧・特別高圧のお客さまに電力を販売しています。

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称		企画総務部
	連絡先	電 話 番 号	03-5830-1191
		ファクシミリ番号	03-3845-8385
		電子メールアドレス	kikakusoumu@synergiapower.co.jp
公 表 の 担当部署	名称		企画総務部
	連絡先	電 話 番 号	03-5830-1191
		ファクシミリ番号	03-3845-8385
		電子メールアドレス	kikakusoumu@synergiapower.co.jp

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2022 年 09 月 01 日		～	2023 年 07 月 31 日	
公表方法	☐ ホームページで公表	アドレス:				
	☐ 窓口での閲覧	閲覧場所:				
		所在地:				
		閲覧可能時間				
	☐ 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
		入手方法:				
	☒ その他	担当部署にて問合せに応じて開示する				

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	149.38	125.96

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.483	0.470	100.00%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	-	-	
調整後CO ₂ 排出係数	0.402	0.407	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

出資会社(東北電力株式会社、東京ガス株式会社)より天然ガスを燃料とする高効率コンバインドサイクル発電設備からの電源を継続して調達したことに加え、20年度と比較し非化石証書を多く購入し低炭素電気を供給したことで、排出係数が低下しております。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	0	0.00%	0	0.00%
(FIT電気)	0	0.00%	0	0.00%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

再生可能エネルギーの利用を促進している出資会社からの調達電源を中心としている。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

未利用エネルギーの利用実績は無いが、東北電力株式会社より、廃棄物発電などの未利用エネルギーを特定した電源を調達することを検討します。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

自社では火力発電所を保有しておりません。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

お客さまの省エネルギーニーズ、温暖化対策に係るニーズに対し、エネルギー分野における実績および知見を豊富に有する東北電力株式会社、東京ガス株式会社およびそれらの関係会社をご紹介できる体制を整え、さらに非化石証書の積極的な活用でお客様ニーズに答えています。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

◆弊社オフィスにおける夏季の軽装化や、不要照明の消灯などの施策を行い、オフィスにおけるエネルギー使用量の削減に努めております。

◆弊社では、温室効果ガス排出抑制を意識し、営業活動等における公共輸送機関の利用、打合せ時のペーパーレス化、裏紙活用による紙資源の有効活用を推進しており、今後もこれを継続してまいります。

6 メニュー別調整後CO₂排出係数等の値

項目	前々年度			前年度		
	調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)		調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)	
メニューA	-	-	-	-	-	-
メニューB	-	-	-	-	-	-
メニューC	-	-	-	-	-	-
メニューD	-	-	-	-	-	-
メニューE	-	-	-	-	-	-
メニューF	-	-	-	-	-	-
メニューG	-	-	-	-	-	-
メニューH	-	-	-	-	-	-
メニューI	-	-	-	-	-	-
メニューJ	0.386	0.00%	0.00%	-	-	-

(メニュー別調整後CO₂排出係数等に係る取組実績)

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあっては名称及び代表者の氏名)	シナネン株式会社 代表取締役 安田貴志
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあっては主たる事務所の所在地)	東京都港区三田三丁目5番27号 住友不動産三田ツインビル西館6階

(2) 事業の概要

発電事業の有無	☒ 有 ☐ 無
都内供給区分	☒ 特別高圧 ☒ 高圧 ☒ 低圧(電力) ☒ 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	・小売事業 シナネン株式会社は、オフィスビルや工場、倉庫等の特別高圧・高圧需要家や低圧需要家への電力小売事業を行っております。 ・その他 省エネやコスト削減に関する、総合的な診断及び提案を行い、ワンストップでサポートしています。 ・建物、室内環境設備を加えた総合省エネ診断で運用改善提案 ・最適なエネルギー調達改善提案 ・機器入替え等による、設備改善提案

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称		環境エネルギー事業本部 電力事業推進部
	連絡先	電 話 番 号	03-6478-7885
		ファクシミリ番号	
		電子メールアドレス	
公 表 の 担当部署	名称		環境エネルギー事業本部 電力事業推進部
	連絡先	電 話 番 号	03-6478-7885
		ファクシミリ番号	
		電子メールアドレス	

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2022 年 10 月 29 日		～	2023 年 07 月 31 日	
公表方法	☐ ホームページで公表	アドレス:				
	☐ 窓口での閲覧	閲覧場所:				
		所在地:				
		閲覧可能時間				
	☐ 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
		入手方法:				
	☒ その他	担当部署で適宜開示します。				

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	22.10	19.60

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.514	0.449	100.00%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	0.779	0.512	
調整後CO ₂ 排出係数	0.561	0.463	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

低CO₂の電気に対するニーズに応えるため
J-クレジット及び非化石証書を購入し調整後CO₂排出係数の削減に貢献しました。
環境配慮メニュー(排出量削減メニュー)の拡販を行いました。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	1,617	3.76%	1,035	2.37%
(FIT電気)	1,617	3.76%	1,035	2.37%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

太陽光発電所から調達した電力を電力小売に最大限活用しております。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

特にございません。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

火力発電所は所有しておりません。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

需要家の省エネ要望に役立つような使用電力の分析を実施を行っております。
また、低CO2の電気に対するニーズに応えるため、Jクレジット及び非化石証書を購入し低排出係数メニューを作成しました。
【排出係数別メニュー】
メニュー名:排出係数
メニュー0.0000メニュー:0
メニュー0.29:0.29以下
メニュー0.39:0.39以下
メニュー0.49:0.49以下
【実質再エネ比率メニュー】
メニュー名:排出係数
実質再エネ比率100%メニュー:0
実質再エネ比率70%メニュー:0.130以下
実質再エネ比率50%メニュー:0.270以下
実質再エネ比率30%メニュー:0.400以下

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

- ・使用電力の削減提案を実施しております。
- ・照明や空調の使用方法など運用改善を実施しております。

6 メニュー別調整後CO₂排出係数等の値

項目	前々年度			前年度		
	調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)		調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)	
メニューA	-	-	-	0.000	50.00%	50.00%
メニューB	-	-	-	-	-	-
メニューC	-	-	-	-	-	-
メニューD	-	-	-	0.490	0.00%	0.00%
メニューE	-	-	-	-	-	-
メニューF	-	-	-	0.361	0.00%	0.00%
メニューG	-	-	-	-	-	-
メニューH	-	-	-	-	-	-
メニューI	-	-	-	-	-	-
メニューJ	-	-	-	0.612	11.23%	5.37%

(メニュー別調整後CO₂排出係数等に係る取組実績)

・非化石証書を購入して対応をしました。

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあっては名称及び代表者の氏名)	ジニーエナジー合同会社 職務執行者 小泉 智子
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあっては主たる事務所の所在地)	東京都港区芝四丁目10番1号

(2) 事業の概要

発電事業の有無	☐ 有 ☒ 無
都内供給区分	☐ 特別高圧 ☒ 高圧 ☒ 低圧(電力) ☒ 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	・電力小売事業 ・電力の売買業務及び売買の仲介業務 ・省エネルギーに関するコンサルティング業務 ・CO2排出権に関わる業務及び受託・代行 ・前各号に付帯関連する一切の業務

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称		ジニーエナジー合同会社
	連絡先	電 話 番 号	03-5484-7501
		ファクシミリ番号	
		電子メールアドレス	
公 表 の 担当部署	名称		ジニーエナジー合同会社
	連絡先	電 話 番 号	03-5484-7501
		ファクシミリ番号	
		電子メールアドレス	

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2022 年 12 月 01 日		～	2023 年 07 月 31 日	
公表方法	☐ ホームページで公表	アドレス:				
	☐ 窓口での閲覧	閲覧場所:				
		所在地:				
		閲覧可能時間				
	☐ 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
		入手方法:				
	☒ その他	お問い合わせをいただいた際に開示				

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	6.65	7.88

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.482	0.390	100.00%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	-	-	
調整後CO ₂ 排出係数	0.427	0.349	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

電力調達時に条件が同じ場合、CO₂排出係数の低い会社からの調達を推進しております。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	0	0.00%	0	0.00%
(FIT電気)	0	0.00%	0	0.00%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

グループ内で開発した非FIT太陽光発電所の電力を供給することを検討しております。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

実績は特にありません。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

■弊社は火力発電所を所有しておりません。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

再エネ比率が10%のプランを開発し販売開始しました。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

■クールビズ・ウォームビズや退室・退勤時の電気消灯等を励行し、節電に取り組んでおります。

6 メニュー別調整後CO₂排出係数等の値

項目	前々年度			前年度		
	調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)		調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)	
メニューA	-	-	-	-	-	-
メニューB	-	-	-	-	-	-
メニューC	-	-	-	-	-	-
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			

(メニュー別調整後CO₂排出係数等に係る取組実績)

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあつては名称及び代表者の 氏名)	GYRO HOLDINGS株式会社 代表取締役 花光 雅丸
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあつては主たる事務所の所在 地)	東京都新宿区西新宿7-22-43

(2) 事業の概要

発電事業の有無	☐ 有 ☒ 無
都内供給区分	☐ 特別高圧 ☐ 高圧 ☒ 低圧(電力) ☒ 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電 事業の概要も記載すること。)	・電力小売事業 弊社は、飲食店舗や一般家庭といった需要家などへの小売を目的とした電力小 売事業 を実施しています。

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称		管理本部
	連絡先	電 話 番 号	03-5937-6758
		ファクシミリ番号	03-5332-6301
		電子メールアドレス	denryoku@gyro.holdings
公 表 の 担当部署	名称		管理本部
	連絡先	電 話 番 号	03-5937-6758
		ファクシミリ番号	03-5332-6301
		電子メールアドレス	denryoku@gyro.holdings

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2022 年 09 月 03 日		～	2023 年 07 月 31 日	
公表方法	☐ ホームページで公表	アドレス:				
	☒ 窓口での閲覧	閲覧場所: 本社商談スペース(担当者にて保管)				
		所在地: 東京都新宿区西新宿7-22-43				
		閲覧可能時間10:00～18:00				
	☐ 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
		入手方法:				
	☐ その他					

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	0.42	0.01

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.478	0.478	100.00%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	-	-	
調整後CO ₂ 排出係数	0.504	0.522	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

需要家様の要望に応じ、非化石電源からの調達を検討。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	0	0.00%	0	0.00%
(FIT電気)	0	0.00%	0	0.00%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

需要家様の要望に応じ、再生可能エネルギーの調達を検討。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

実績なし

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

火力発電施設を所有していません。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

需要家個別の会員ページにて使用電力量を確認して頂き、
電気の使い方、使用量を意識してもらい省エネ、節電の啓発につなげています。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

オフィスでのクールビズ
テレワークの推進

6 メニュー別調整後CO₂排出係数等の値

項目	前々年度			前年度		
	調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)		調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)	
メニューA	-	-	-	-	-	-
メニューB	-	-	-	-	-	-
メニューC	-	-	-	-	-	-
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			

(メニュー別調整後CO₂排出係数等に係る取組実績)

--

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあつては名称及び代表者の氏名)	株式会社ジャパネットサービスイノベーション 代表取締役社長 茨木 智設
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあつては主たる事務所の所在地)	福岡県福岡市中央区天神1-10-20 天神ビジネスセンター12階

(2) 事業の概要

発電事業の有無	☐ 有 ☒ 無
都内供給区分	☐ 特別高圧 ☐ 高圧 ☐ 低圧(電力) ☒ 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	自社で展開しているジャパネットカード利用者に対して 低圧分野向けプランを提供しています。

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称		サービスソリューション課
	連絡先	電 話 番 号	092-235-9777
		ファクシミリ番号	
		電子メールアドレス	ji_payments_serv@japanet.co.jp
公 表 の 担当部署	名称		サービスソリューション課
	連絡先	電 話 番 号	092-235-9777
		ファクシミリ番号	
		電子メールアドレス	ji_payments_serv@japanet.co.jp

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2022 年 08 月 01 日		～	2023 年 07 月 31 日	
公表方法	☐ ホームページで公表	アドレス:				
	☐ 窓口での閲覧	閲覧場所:				
		所在地:				
		閲覧可能時間				
	☐ 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
		入手方法:				
	☒ その他	担当部署への問い合わせ				

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	0.01	0.18

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.447	0.437	100.00%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	-	-	
調整後CO ₂ 排出係数	0.392	0.381	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

特に具体的な対策、取組実績はございませんが、
排出係数の削減に向けて調達先と連携し対応を検討しております。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	0	0.00%	0	0.00%
(FIT電気)	0	0.00%	0	0.00%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

特に具体的な対策、取組実績はございませんが、
再生可能エネルギー等の導入に向けて調達先と連携し対応を検討しております。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

現時点では未利用エネルギー等による発電および他社からの調達は想定しておりません。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

火力発電所の所有はございません。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

現時点で地球温暖化の対策に関して具体的な措置は実施しておりません。

今後は、需要家向けに再生可能エネルギーの割合が高いプラン提供の検討や非FIT電源の調達により再エネ電源の普及・拡大と二酸化炭素排出量の削減に努めます。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

グループ企業を含め、再エネ電源の普及・拡大と二酸化炭素排出量の削減に努めます。

6 メニュー別調整後CO₂排出係数等の値

項目	前々年度			前年度		
	調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)		調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)	
メニューA	-	-	-	-	-	-
メニューB	-	-	-	-	-	-
メニューC	-	-	-	-	-	-
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			

(メニュー別調整後CO₂排出係数等に係る取組実績)

現時点で排出係数に関する具体的な取組は実施しておりません。

今後は、提供プラン等を含め検討いたします。

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあっては名称及び代表者の氏名)	Japan電力株式会社 代表取締役 管 康輔
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあっては主たる事務所の所在地)	大阪府大阪市西区靱本町1丁目20-13

(2) 事業の概要

発電事業の有無	☐ 有 ☒ 無
都内供給区分	☒ 特別高圧 ☒ 高圧 ☒ 低圧(電力) ☒ 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	・電力小売事業 沖縄を除く全てのエリアにて高圧・低圧の電力需要者(主に中小工場、オフィスビル、小売店舗等)に対し、電力供給を行っております。

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称		新電力事業部 業務推進課
	連絡先	電 話 番 号	06-7713-2400
		ファクシミリ番号	06-7713-2402
		電子メールアドレス	support@japaden.com
公 表 の 担当部署	名称		新電力事業部 業務推進課
	連絡先	電 話 番 号	06-7713-2400
		ファクシミリ番号	06-7713-2402
		電子メールアドレス	support@japaden.com

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2022 年 08 月 01 日		～	2023 年 07 月 31 日	
公表方法	☒ ホームページで公表	アドレス: https://www.japaden.jp/				
	☐ 窓口での閲覧	閲覧場所:				
		所在地:				
		閲覧可能時間				
	☐ 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
		入手方法:				
	☐ その他					

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	5.12	5.96

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.455	0.461	100.00%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	-	-	
調整後CO ₂ 排出係数	0.472	0.409	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

FIT電源や卒FIT電源等を中心とした再生エネルギーの電源調達、また排出係数の低い事業者からの調達を進めることで排出係数の削減に努めました。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	12	0.11%	15	0.12%
(FIT電気)	12	0.11%	15	0.12%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

住宅用太陽光発電設備のFIT電源や卒FIT電源など低圧小規模の再生エネルギー調達は増加しております。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

未利用エネルギーによる供給はございません。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

火力発電所を保有しておりません。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

全ての需要者様に対し使用電力量の見える化が可能となるシステムを導入しており、節電の取り組みに役立てて頂いております。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

社内においては、クールビズ、ごみの分別に取り組んでおります。

6 メニュー別調整後CO₂排出係数等の値

項目	前々年度			前年度		
	調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)		調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)	
メニューA	-	-	-	-	-	-
メニューB	-	-	-	-	-	-
メニューC	-	-	-	-	-	-
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			

(メニュー別調整後CO₂排出係数等に係る取組実績)

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあっては名称及び代表者の氏名)	情報ハイウェイ協同組合 代表理事 坂手 滋太
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあっては主たる事務所の所在地)	岡山県津山市神戸475-1

(2) 事業の概要

発電事業の有無	☐ 有 ☒ 無
都内供給区分	☐ 特別高圧 ☒ 高圧 ☐ 低圧(電力) ☐ 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	・電力小売事業 当組合は、東京電力エリアにおける工場等高圧施設への電力の供給をしています。 ・その他 主たる営業目的として、ETCコーポレートカードによる高速道路料金割引事業や、外国人技能実習生共同受入事業を行っております。

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称		新電力チーム
	連絡先	電 話 番 号	03-3452-1818
		ファクシミリ番号	03-3452-1830
		電子メールアドレス	energy@johohighway.or.jp
公 表 の 担当部署	名称		新電力チーム
	連絡先	電 話 番 号	03-3452-1818
		ファクシミリ番号	03-3452-1830
		電子メールアドレス	energy@johohighway.or.jp

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2021 年 10 月 31 日		～	2023 年 07 月 31 日	
公表方法	☐ ホームページで公表	アドレス:				
	☒ 窓口での閲覧	閲覧場所: 東京本部				
		所在地: 東京都港区三田1-4-28 三田国際ビル18F				
		閲覧可能時間 10:00 - 16:00				
	☐ 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
		入手方法:				
	☐ その他					

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	0.38	0.63

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.474	0.485	100.00%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	-	-	
調整後CO ₂ 排出係数	0.467	0.464	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

特になし

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	0	0.00%	0	0.00%
(FIT電気)	0	0.00%	0	0.00%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

特になし

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績や開発の実績はありません。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

発電事業なし

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

需要家の皆様を対象に、電力ご利用状況を資料にまとめて見える化をしました。
工場等大規模施設でのエアコンの効率化等、電気料金削減及び省エネに繋がるご提案を行いました。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

太陽光発電設置のためのご案内や、再エネ設備導入における補助金申請のご支援等を行いました。

6 メニュー別調整後CO₂排出係数等の値

項目	前々年度			前年度		
	調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)		調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)	
メニューA	-	-	-	-	-	-
メニューB	-	-	-	-	-	-
メニューC	-	-	-	-	-	-
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			

(メニュー別調整後CO₂排出係数等に係る取組実績)

前年度での再エネメニューの取り扱いはありません。

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあっては名称及び代表者の氏名)	株式会社新出光 代表取締役 出光泰典
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあっては主たる事務所の所在地)	福岡県福岡市博多区上呉服町1-10

(2) 事業の概要

発電事業の有無	☐ 有 ☒ 無
都内供給区分	☐ 特別高圧 ☒ 高圧 ☐ 低圧(電力) ☐ 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	電力小売事業 石油類の販売(ガソリン、灯油、軽油、A重油、C重油、潤滑油、アスファルト) LNG(液化天然ガス)、LPGの販売 売電事業 太陽光発電システムの販売、蓄電池の販売(設計・施工) レンタカー、新車中古車販売・買取、カーケアショップ(整備工場)の運営 アドブルー、LEDの販売 不動産事業

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称		電力事業部 電力事業課
	連絡先	電 話 番 号	092-291-4160
		ファクシミリ番号	092-271-0946
		電子メールアドレス	idexg00126@idex.co.jp
公 表 の 担当部署	名称		電力事業部 電力事業課
	連絡先	電 話 番 号	092-291-4160
		ファクシミリ番号	092-271-0946
		電子メールアドレス	idexg00126@idex.co.jp

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2022 年 09 月 01 日		～	2023 年 07 月 31 日	
公表方法	☐	ホームページで公表	アドレス:			
	☒	窓口での閲覧	閲覧場所: 本社6F電力事業課			
			所在地: 福岡県福岡市博多区上呉服町1番10号			
			閲覧可能時間 平日9:00 ～ 17:00			
	☐	冊子(環境報告書等)	冊子名:			
		入手方法:				
	☐	その他				

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	5.86	8.01

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.473	0.476	100.00%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	-	-	
調整後CO ₂ 排出係数	0.451	0.497	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

非化石証書の購入

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	129	1.04%	58	0.34%
(FIT電気)	129	1.04%	58	0.34%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

再生可能エネルギーの相対での調達をすすめていたが、価格等条件に一致するものが無かったため調達できていない。また、発電所の建設についても電力業界の見通しが不明瞭なため実施していない。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

未利用エネルギーの調達予定はありません。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

自社火力発電所は保持していない。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

- ・需要家へWEB上での電気使用量の提供。
- ・需要家へ最大需要電力が設定値を超えた場合にメールで通知する。
- ・需要家へのEMSによる省エネ提案
- ・自家消費太陽光の提案

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

特になし

6 メニュー別調整後CO₂排出係数等の値

項目	前々年度			前年度		
	調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)		調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)	
メニューA	-	-	-	-	-	-
メニューB	-	-	-	-	-	-
メニューC	-	-	-	-	-	-
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			

(メニュー別調整後CO₂排出係数等に係る取組実績)

低CO₂メニューについては2021年度から提供開始しており、温対法でもメニュー別排出係数を報告済み

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあっては名称及び代表者の氏名)	シン・エナジー株式会社 乾 正博 代表取締役社長
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあっては主たる事務所の所在地)	兵庫県神戸市中央区御幸通8-1-6

(2) 事業の概要

発電事業の有無	☒ 有 ☐ 無
都内供給区分	☒ 特別高圧 ☒ 高圧 ☒ 低圧(電力) ☒ 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	【エネルギーの総合プロデュース&エンジニアリング企業】 これからの「電力会社」として、エネルギーを創るところから賢く使うところまでのサービスをワンストップで提供し、持続可能な社会の実現を目指しています。 ■創エネ事業 「エネルギーの地産地消」や「小規模分散型エネルギー社会」を目指し、全国規模で再生可能エネルギー(バイオマス・太陽光・地熱・水力など)の開発を進めています。 ■新電力事業 地域で創った電気を地域内で消費するために、単に電気を安くするというだけでなく地域に貢献する価値あるサービスを提供しています。

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称		需給管理部
	連絡先	電 話 番 号	078-600-2665
		ファクシミリ番号	
		電子メールアドレス	symene_pps@symenergy.co.jp
公 表 の 担当部署	名称		広報・IR担当
	連絡先	電 話 番 号	078-600-2666
		ファクシミリ番号	078-600-2666
		電子メールアドレス	contact@symenergy.co.jp

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2022 年 08 月 01 日		～	2023 年 07 月 31 日	
公表方法	☐	ホームページで公表	アドレス:			
	☒	窓口での閲覧	閲覧場所: シン・エナジー株式会社			
			所在地: 神戸市中央区御幸通8-1-6 14階			
			閲覧可能時間 10:00～17:00			
	☐	冊子(環境報告書等)	冊子名:			
		入手方法:				
	☐	その他				

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	41.91	45.03

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.516	0.426	100.00%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	-	-	
調整後CO ₂ 排出係数	0.503	0.380	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

CO2削減の重要性について認識し、再エネ電源の調達や再エネメニューの検討を実施しました。
※前年度排出係数を持たない新規参入事業者からの受電があるため、未把握の部分あり

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	75	0.09%	0	0.00%
(FIT電気)	75	0.09%	0	0.00%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

再生可能エネルギーの普及を推進するべく、現在再エネ電源の調達や再エネメニューを検討しました。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

当社ではこれまでに未利用エネルギーを利用した発電を推進し、着実に実績を蓄積してきました。電源開発の種類は、未利用温泉熱を利用した地熱発電、地元未利用木材を利用したバイオマス発電、位置エネルギーを利用した小水力発電など多岐にわたります。未利用エネルギーを利用した発電による電気の供給量を今後いっそう増加させるよう各地で電源開発に取り組んでいます。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

当社は火力発電を有していません。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

・電源開発に係る取り組み方針

- ①地域に密着した環境に優しいクリーンエネルギーの開発
- ②再エネ電源からの売電事業の進行
- ③海外の水力発電開発プロジェクトへの参画。

・電力供給に係る取り組み方針

- ①安定供給に努めつつ、できる限り再エネ電源からの調達量を増加。
- ②自社のCO2排出係数低減に努めた。
- ③WEB上で電力使用実績の見える化の実施。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

全社を挙げて、クールビズ・ウォームビズ・昼休みの消灯・サマータイム導入等、積極的な節電を実施しました。

6 メニュー別調整後CO₂排出係数等の値

項目	前々年度			前年度		
	調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)		調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)	
メニューA	-	-	-	-	-	-
メニューB	-	-	-	-	-	-
メニューC	-	-	-	-	-	-
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			

(メニュー別調整後CO₂排出係数等に係る取組実績)

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあっては名称及び代表者の氏名)	新電力いばらき株式会社 代表取締役 飯村 真樹
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあっては主たる事務所の所在地)	茨城県水戸市常磐町1-1-9

(2) 事業の概要

発電事業の有無	☐ 有 ☒ 無
都内供給区分	☐ 特別高圧 ☒ 高圧 ☒ 低圧(電力) ☒ 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	小売電気事業 主に茨城県内の需要家に対し電気の供給を行っております。

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称		業務グループ
	連絡先	電 話 番 号	029-224-7760
		ファクシミリ番号	029-225-6010
		電子メールアドレス	sdi@firststage.biz
公 表 の 担当部署	名称		業務グループ
	連絡先	電 話 番 号	029-224-7760
		ファクシミリ番号	029-225-6010
		電子メールアドレス	sdi@firststage.biz

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2022 年 08 月 01 日		～	2023 年 07 月 31 日	
公表方法	☐ ホームページで公表	アドレス:				
	☐ 窓口での閲覧	閲覧場所:				
		所在地:				
		閲覧可能時間				
	☐ 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
		入手方法:				
	☒ その他	問い合わせ時、個別対応いたします。				

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	-	0.00

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	-	0.437	100.00%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	-	-	
調整後CO ₂ 排出係数	-	0.381	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

balancing groupからの調達のため、代表事業者の対策に準じます。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	-	-	0	0.00%
(FIT電気)	-	-	0	0.00%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

balancing groupからの調達のため、代表事業者の実績に準じます。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
-	-	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

バランシンググループからの調達のため、代表事業者の取組実績に準じます。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

火力発電所は所有しておりません。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

バランシンググループからの調達のため、代表事業者の取組実績に準じます。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

バランシンググループからの調達のため、代表事業者の取組実績に準じます。

6 メニュー別調整後CO₂排出係数等の値

項目	前々年度			前年度		
	調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)		調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)	
メニューA	-	-	-	-	-	-
メニューB	-	-	-	-	-	-
メニューC	-	-	-	-	-	-
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			

(メニュー別調整後CO₂排出係数等に係る取組実績)

2021年度において、CO₂排出係数等に係る取組等は行っておりません。

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあっては名称及び代表者の氏名)	株式会社翠光トップライン 代表取締役 上条昌輝
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあっては主たる事務所の所在地)	東京都文京区湯島3-11-10

(2) 事業の概要

発電事業の有無	☐ 有 ☒ 無
都内供給区分	☐ 特別高圧 ☒ 高圧 ☒ 低圧(電力) ☒ 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	●小売電気事業 弊社は、オフィス・店舗・工場など事業者への小売りを目的とした電力小売り事業を実施しております。 ●その他 希望する需要家様には「排出係数を調整した電気」を販売いたします。また「使用する電気そのものを軽減する」設備導入などのご提案をいたします。 ●省エネルギー診断 弊社が参画しております。「エコファーム推進機構」では無料の省エネ診断事業を行っており、小売電気創業以来、電気を販売する一方で「省電力」「省コスト」を積極的にご提案する方針で進めております。中小企業事業者様の省エネ支援をメインに活動しております。

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称		エネルギーソリューション事業部
	連絡先	電話番号	03-5688-3177
		ファクシミリ番号	03-5688-3277
		電子メールアドレス	energy@suikohtl.com
公表の 担当部署	名称		エネルギーソリューション事業部
	連絡先	電話番号	03-5688-3177
		ファクシミリ番号	03-5688-3277
		電子メールアドレス	energy@suikohtl.com

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2022 年 08 月 01 日		～	2023 年 07 月 31 日	
公表方法	☐ ホームページで公表	アドレス:				
	☐ 窓口での閲覧	閲覧場所:				
		所在地:				
		閲覧可能時間				
	☐ 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
		入手方法:				
☒ その他	担当部署で問合せ対応					

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	0.22	0.25

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.476	0.475	100.00%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	-	-	
調整後CO ₂ 排出係数	0.512	0.521	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

①需要家の電気使用状況が30分ごと・日・月単位で数値化及びグラフ化されるシステム導入により電力の「見える化」を実施し、省エネの意識向上を図るとともに、②太陽光発電、蓄電池の導入を勧めております。また、③再生可能エネルギーの調達、Jクレジットや非化石価値証書の活用を推進しております。(①②は実施済 ③は実施に至っておりません。)ここまでは昨年と同様です。新たな取り組みとして、防災特化型の蓄電池を開発、製造し2020年8月中旬から販売を開始し各地で採用されております。未曾有の災害が毎年発生しており、さらに今年は「コロナウイルス感染問題」が重なり、避難所施設では3密を回避することが困難であります。在宅避難を推奨するとともに電源確保を実現したものです。これは太陽光発電で充電も出来ます。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	0	0.00%	0	0.00%
(FIT電気)	0	0.00%	0	0.00%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

弊社の電力供給の目的として、『エネルギー使用量&省エネの「見える化」光熱費削減、CSRの向上支援を致します』と掲げ、①お客様ごとにCO2排出係数を調整します。②使用する電気を減らすご提案推進しております。②については太陽光発電、蓄電池による自家消費型の導入を積極的に進めていきます。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

取組実績はございません

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

火力発電所は所有しておりません

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

弊社の参画している省エネ支援法人「エコファーム推進機構」にて省エネ診断を実施して地球温暖化対策の支援活動をしております。需要家(供給地点ごと)の30分毎の電気使用量、昨年との比較を「見える化」して節電の意識向上をはかりました。太陽光発電による自家消費を促進して今年度から設置件数も増加しております。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

社内のLED化、クールビズ実施、社用車を廃止して公共交通機関の利用を奨励、テレワークの実施、コロナ禍終息後も継続の予定、空調機設定温度28℃奨励

6 メニュー別調整後CO₂排出係数等の値

項目	前々年度			前年度		
	調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)		調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)	
メニューA	-	-	-	-	-	-
メニューB	-	-	-	-	-	-
メニューC	-	-	-	-	-	-
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			

(メニュー別調整後CO₂排出係数等に係る取組実績)

特にございません

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあつては名称及び代表者の氏名)	鈴与商事株式会社 代表取締役社長 伊藤 正彦
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあつては主たる事務所の所在地)	静岡県静岡市葵区栄町1-3

(2) 事業の概要

発電事業の有無	☐ 有 ☒ 無
都内供給区分	☐ 特別高圧 ☐ 高圧 ☒ 低圧(電力) ☒ 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	・小売電気事業 弊社は、一般家庭及び事業所内に対する電気小売を目的とした事業を実施します。

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称		くらしサポート企画部 お客様相談センター
	連絡先	電 話 番 号	054-663-9330
		ファクシミリ番号	054-663-9331
		電子メールアドレス	suzuyo-teiatsudenki-gaibutoiawase@ss.suzuyoshoji.co.jp
公 表 の 担当部署	名称		くらしサポート企画部 お客様相談センター
	連絡先	電 話 番 号	054-663-9330
		ファクシミリ番号	054-663-9331
		電子メールアドレス	suzuyo-teiatsudenki-gaibutoiawase@ss.suzuyoshoji.co.jp

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2022 年 08 月 01 日		～	2023 年 07 月 31 日	
公表方法	☐ ホームページで公表	アドレス:				
	☒ 窓口での閲覧	閲覧場所: 鈴与商事株式会社				
		所在地: 静岡県静岡市葵区栄町1-3				
		閲覧可能時間 9:00～17:50				
	☐ 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
		入手方法:				
	☐ その他					

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	0.39	0.47

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.465	0.486	100.00%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	-	-	
調整後CO ₂ 排出係数	0.311	0.326	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

激変緩和措置の終了に伴う固定価格買取制度による自社の買取電力量の減少に伴い、事業者からの調達電力量が増加した結果、排出係数は上昇しました。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	37	4.41%	0	0.00%
(FIT電気)	0	0.00%	0	0.00%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

激変緩和措置の終了に伴う固定価格買取制度による自社の買取電力量の減少に伴い、再生可能エネルギーの調達電力量は減少、事業者からの調達電力量が増加しました。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

特にございません。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

現時点では、自社及び子会社が所有する火力発電所はございません。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

弊社オリジナルのお客様向け情報誌・メルマガ(WEBコラム)を通じ、省エネ機器の紹介・電気使用時の注意等を紹介しました。
実質再生エネルギー100%電気料金プランを紹介しました。
また、事業所等に対しては、省エネ対策として、空調・LEDの更新等による機器改善の提案を行いました。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

弊社の本社所在地である静岡県静岡市において実施している、地球温暖化対策の推進、防災機能の拡充、地域経済の活性化、市役所における電力調達コストの削減を図るための電力売買の一括契約と民間投資によるバーチャルパワープラントを組み合わせた取り組みを継続しました。
ハウスメーカーと共同で、太陽光発電設備、V2H、蓄電池システム、HEMS、ハイブリット給湯器、エアコン、スマートスピーカー等のIoT機器を採用した最新鋭のZEHパッケージのモデルハウスを建築し、一般需要家へのPRを行いました。
戸建住宅における太陽光発電の普及促進を図る目的で、新築住宅向け「太陽光発電システム無償設置サービス」の提供を継続しています。

6 メニュー別調整後CO₂排出係数等の値

項目	前々年度			前年度		
	調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)		調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)	
メニューA	-	-	-	-	-	-
メニューB	-	-	-	-	-	-
メニューC	-	-	-	-	-	-
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			

(メニュー別調整後CO₂排出係数等に係る取組実績)

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあつては名称及び代表者の氏名)	鈴与電力株式会社 代表取締役社長 大野 裕之
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあつては主たる事務所の所在地)	静岡県静岡市葵区栄町1番地の3

(2) 事業の概要

発電事業の有無	☐ 有 ☒ 無
都内供給区分	☒ 特別高圧 ☒ 高圧 ☐ 低圧(電力) ☐ 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	・小売電気事業 弊社は、工場や事務所といった大口需要家などへの電気小売を目的とした事業を実施します。

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称		鈴与電力株式会社
	連絡先	電 話 番 号	054-665-8073
		ファクシミリ番号	054-273-7794
		電子メールアドレス	suzuyo-power@ss.suzuyoshoji.co.jp
公 表 の 担当部署	名称		鈴与電力株式会社
	連絡先	電 話 番 号	054-665-8073
		ファクシミリ番号	054-273-7794
		電子メールアドレス	suzuyo-power@ss.suzuyoshoji.co.jp

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2022 年 08 月 01 日		～	2023 年 07 月 31 日	
公表方法	☐ ホームページで公表	アドレス:				
	☒ 窓口での閲覧	閲覧場所: 鈴与電力株式会社				
		所在地: 静岡県静岡市葵区栄町1番地の3				
		閲覧可能時間 9:00～17:50				
	☐ 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
		入手方法:				
	☐ その他					

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	2.02	2.05

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.487	0.486	100.00%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	-	-	
調整後CO ₂ 排出係数	0.367	0.407	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

卒FIT電源や自治体等よりの非化石電源の調達を進めた結果、基礎排出係数が低下したものの、非FIT非化石証書の調達量減少に伴い、調整後排出係数が上昇しました。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	1	0.01%	2	0.05%
(FIT電気)	0	0.00%	0	0.00%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

FIT制度における10年間の買取期間が満了した住宅用太陽光発電設備をお持ちのお客様を対象に、『太陽光発電の余剰電力買取サービス』の提供を実施致しました。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

2021年4月より、自治体清掃工場における廃棄物発電余剰電力の受給を行いました。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

現時点では、自社及び子会社が所有する火力発電所はございません。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

取次事業者を通し、お客様のエネルギーコスト削減をサポートする為、お客様の30分毎の電力使用データを基に、毎月電力使用実績を送付し、電力の運用改善の提案を行いました。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

春日井市と「公共施設への電力供給とゼロカーボン推進に関する連携協定」を締結し、同市の清掃工場で発電されたCO2フリー電力及び再生可能エネルギー電力を活用した公共施設への電力供給を開始致しました。
本事業においては、電力供給におけるゼロカーボン化に留まらず、電力需要を調整するデマンドレスポンスの実証や、公用車のEV化、小中学生向けの環境教育や地域イベントを通じた環境啓発活動にも取り組んでいく予定となっております。

6 メニュー別調整後CO₂排出係数等の値

項目	前々年度			前年度		
	調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)		調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)	
メニューA	-	-	-	-	-	-
メニューB	-	-	-	-	-	-
メニューC	-	-	-	-	-	-
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			

(メニュー別調整後CO₂排出係数等に係る取組実績)

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあっては名称及び代表者の氏名)	スターティア株式会社 代表取締役 笠井充
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあっては主たる事務所の所在地)	東京都新宿区西新宿2-3-1 新宿モリス19F

(2) 事業の概要

発電事業の有無	☐ 有 ☒ 無
都内供給区分	☒ 特別高圧 ☒ 高圧 ☒ 低圧(電力) ☒ 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	システムインテグレーション・セキュリティ対策 通信システム機器販売・設計・施工・保守メンテナンス OA機器販売・設計・施工・保守メンテナンス Webサイトの企画・制作、Web集客のコンサルティング 電気事業及びその付帯事業

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称		環境エネルギー部
	連絡先	電 話 番 号	03-5339-2101
		ファクシミリ番号	
		電子メールアドレス	denki_support@startia.co.jp
公 表 の 担当部署	名称		環境エネルギー部
	連絡先	電 話 番 号	03-5339-2101
		ファクシミリ番号	
		電子メールアドレス	denki_support@startia.co.jp

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2022 年 08 月 01 日		～	2023 年 07 月 31 日	
公表方法	☐ ホームページで公表	アドレス:				
	☐ 窓口での閲覧	閲覧場所:				
		所在地:				
		閲覧可能時間				
	☐ 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
		入手方法:				
☒ その他	問い合わせがあり次第個別に対応します					

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	2.16	11.86

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.478	0.477	100.00%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	-	-	
調整後CO ₂ 排出係数	0.511	0.509	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

グループ各社ならび他社からの再生可能エネルギーの利用促進に努めております

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	0	0.00%	0	0.00%
(FIT電気)	0	0.00%	0	0.00%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

グループ各社ならび他社からの再生可能エネルギーの利用促進に努めております

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

特にございません

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

弊社は火力発電所を保有しておりません。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

需要家に対して、マイページでの電気使用量の閲覧、月次で発行する請求書へ掲示して、電力の運用改善の提案を行いました。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

特にございません。

6 メニュー別調整後CO₂排出係数等の値

項目	前々年度			前年度		
	調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)		調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)	
メニューA	-	-	-	-	-	-
メニューB	-	-	-	-	-	-
メニューC	-	-	-	-	-	-
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			

(メニュー別調整後CO₂排出係数等に係る取組実績)

特にございません。

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあつては名称及び代表者の氏名)	スマートエコエナジー株式会社 代表取締役 高井 裕之
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあつては主たる事務所の所在地)	東京都中央区京橋二丁目16番1号

(2) 事業の概要

発電事業の有無	☐ 有 ☒ 無
都内供給区分	☐ 特別高圧 ☒ 高圧 ☒ 低圧(電力) ☒ 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	・電力小売事業 弊社は2018年11月よりオフィスビルや工場、工事現場といった需要家などへ、低排出係数メニュー、再エネメニューを提供しております。

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称		電力営業部
	連絡先	電 話 番 号	03-3561-1295
		ファクシミリ番号	03-3561-8519
		電子メールアドレス	support_see-mlist@smarteco.co.jp
公 表 の 担当部署	名称		電力営業部
	連絡先	電 話 番 号	03-3561-1295
		ファクシミリ番号	03-3561-8519
		電子メールアドレス	support_see-mlist@smarteco.co.jp

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2022 年 08 月 01 日		～	2023 年 07 月 31 日	
公表方法	☐ ホームページで公表	アドレス:				
	☐ 窓口での閲覧	閲覧場所:				
		所在地:				
		閲覧可能時間				
	☐ 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
		入手方法:				
	☒ その他	担当部署への連絡				

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	5.37	3.86

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.567	0.317	100.00%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	-	-	
調整後CO ₂ 排出係数	0.539	0.257	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

- ・LNG由来の相対電源の調達と、需要に対する割合を多くすることで係数低減を図った。
- ・トラッキング付非化石価値の調達を行った。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	0	0.00%	0	0.00%
(FIT電気)	0	0.00%	0	0.00%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

- ・再エネ(FIT及びnonFIT)を電源として使用できるスキームを検討した。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

未利用エネルギー等の利用については検討中です。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

・自社火力発電所なし

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

・需要家の30分毎の電力使用状況を分析し、設備機器の省エネ運転など施設運営への提案を実施。
・オフサイトPPAの提案を実施。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

・クールビズ実施、不要時のパソコン電源のOFF、人感センサによる照明の自動ON/OFFの取組を実施。

6 メニュー別調整後CO₂排出係数等の値

項目	前々年度			前年度		
	調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)		調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)	
メニューA	-	-	-	0.000	0.00%	0.00%
メニューB	-	-	-	0.200	0.00%	0.00%
メニューC	-	-	-	0.424	0.00%	0.00%
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			

(メニュー別調整後CO₂排出係数等に係る取組実績)

・トラッキング付非化石価値、Jクレジット(省エネ由来)を調達し、排出係数低減を図った。

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあつては名称及び代表者の氏名)	株式会社スマートテック 代表取締役社長 小寺 雄三
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあつては主たる事務所の所在地)	茨城県水戸市赤塚1-16 エスコート赤塚ウエスト 2F

(2) 事業の概要

発電事業の有無	☐ 有 ☒ 無
都内供給区分	☐ 特別高圧 ☒ 高圧 ☐ 低圧(電力) ☒ 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	・小売電気事業 当社は「スマートシティ構想」に基づき、その実現の為の一環として高圧需要家並びに低圧需要家への電力供給を実施致します。

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称		電力事業部
	連絡先	電 話 番 号	03-5928-3601
		ファクシミリ番号	03-5928-3602
		電子メールアドレス	smt_shindenryoku@smart-tech.co.jp
公 表 の 担当部署	名称		電力事業部
	連絡先	電 話 番 号	03-5928-3601
		ファクシミリ番号	03-5928-3602
		電子メールアドレス	smt_shindenryoku@smart-tech.co.jp

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2022 年 08 月 01 日		～	2023 年 07 月 31 日	
公表方法	☒ ホームページで公表	アドレス: http://www.smart-tech.co.jp/ ☐				
	☐ 窓口での閲覧	閲覧場所:				
		所在地:				
		閲覧可能時間				
	☐ 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
		入手方法:				
☐ その他						

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	1.90	1.41

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.417	0.407	100.00%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	-	-	
調整後CO ₂ 排出係数	0.475	0.518	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

- 排出係数の削減目標に向けた具体的な対策
- ・電力供給量の増加に伴い、再生可能エネルギーとしての電源確保を実施
- 取り組み実績及びその効果
- ・電力供給量に合わせ再生可能エネルギーとしての電源については確保に努めた

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	388	8.51%	265	7.67%
(FIT電気)	388	8.51%	265	7.67%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

- 再生可能エネルギーの利用促進対策としての具体的な取組実績
- ・一般家庭ー太陽光発電の余剰買取を推進
 - ・需要家への電力供給は非化石証書を用いた再生可能エネルギー料金プランの提供へと段階的にシフトさせております。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

・現在、未利用エネルギー等を利用した発電による電気を供給しておりません。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

・現在、当社による火力発電所は運営しておりません。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

・電力の「見える化」を通じて電力消費の最適化を推進しております。
・需要家に対し、コスト面及び環境面を踏まえ非化石証書を用いた実質的再エネ電気料金プランをご提示し、地球温暖化に対する手段の一つとしてご検討いただけるような選択肢を設けております。
・太陽光で発電した電気を蓄電池に蓄える等、効率的なエネルギー利用環境のご提案も併せて実施しております。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

・当社において、スマートハウス(：太陽光発電システムや蓄電池などのエネルギー機器、家電、住宅機器などをコントロールし、エネルギーマネジメントを行うことで、CO2排出の削減を実現する省エネ住宅)の提案を進めており、弊社における太陽光発電による電力購入量を前年比並とする予定としております。

6 メニュー別調整後CO₂排出係数等の値

項目	前々年度			前年度		
	調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)		調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)	
メニューA	-	-	-	-	-	-
メニューB	-	-	-	-	-	-
メニューC	-	-	-	-	-	-
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			

(メニュー別調整後CO₂排出係数等に係る取組実績)

特になし。

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあっては名称及び代表者の氏名)	生活協同組合 コープみらい 代表理事専務理事 熊崎 伸
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあっては主たる事務所の所在地)	埼玉県さいたま市南区根岸1丁目5番5号

(2) 事業の概要

発電事業の有無	☒ 有 ☐ 無
都内供給区分	☐ 特別高圧 ☐ 高圧 ☐ 低圧(電力) ☒ 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	■小売電気事業 2017年7月よりコープみらいの組合員に対して電気小売事業を展開しています。また、原子力発電に頼らないエネルギー政策の実施と持続可能な社会をめざし、再生可能エネルギーの発電と利用を一体的に推進していきます。 ■発電事業 埼玉県・東京都にある配送センター(6箇所)の屋根に太陽光発電所(合計で約300kW)を所有しています。

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称		エネルギー供給事業推進室
	連絡先	電 話 番 号	048-839-1713
		ファクシミリ番号	048-839-1928
		電子メールアドレス	mirai_denkil@coopnet.or.jp
公 表 の 担当部署	名称		同上
	連絡先	電 話 番 号	同上
		ファクシミリ番号	同上
		電子メールアドレス	同上

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2022 年 08 月 01 日		～	2023 年 07 月 31 日	
公表方法	☐ ホームページで公表	アドレス:				
	☐ 窓口での閲覧	閲覧場所:				
		所在地:				
		閲覧可能時間				
	☐ 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
		入手方法:				
	☒ その他	担当部署へ問合せ				

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	30.73	27.69

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.427	0.318	100.00%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	-	-	
調整後CO ₂ 排出係数	0.372	0.262	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

・電力の調達元に対して、排出係数低減に向けた取り組みを強化してもらう働きかけを積極的に行いました。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	0	0.00%	0	0.00%
(FIT電気)	0	0.00%	0	0.00%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

・電力の調達元に対して、再生可能エネルギーの調達割合を増加してもらう働きかけを積極的に行っていました。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

・電力の調達元に対して、未利用エネルギー等の調達割合を増加してもらう働きかけを積極的に行ってまいりました。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

・電力の調達元に対して、効率の良い運転をしてもらう働きかけを積極的に行ってまいりました。自社等の発電所を保有しておりません。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

電源構成やCO2排出係数の情報提供を通して、需要家と一緒に地球温暖化対策の方法を考えます。また、需要家へはマイページでの電気使用量の閲覧、月次で発行する請求書へ掲示して周知を図ります。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

一部店舗で、資本関係にあるバイオマス発電所から調達した電気を100%使用し運営しています。該当店舗では、ポスターを掲示して、来店者および従業員に対して再生可能エネルギーに関する興味喚起を図っています。

6 メニュー別調整後CO₂排出係数等の値

項目	前々年度			前年度		
	調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)		調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)	
メニューA	-	-	-	-	-	-
メニューB	-	-	-	-	-	-
メニューC	-	-	-	-	-	-
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			

(メニュー別調整後CO₂排出係数等に係る取組実績)

・電力の調達元に対して、排出係数低減に向けた取り組みを強化してもらう働きかけを積極的に行いました。

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあっては名称及び代表者の氏名)	株式会社生活クラブエナジー 代表取締役 半澤 彰浩
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあっては主たる事務所の所在地)	東京都中央区日本橋人形町1-6-9

(2) 事業の概要

発電事業の有無	☐ 有 ☒ 無
都内供給区分	☐ 特別高圧 ☒ 高圧 ☒ 低圧(電力) ☒ 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	■小売電気事業 ・弊社は2015年4月より、東京電力管内にて生活クラブ生活協同組合を始めとする需要家(配送センター、店舗、工場等)へ小売事業を開始し、2016年4月より、北海道・東北・中部・関西電力管内の生活クラブ生協事業所、同年6月から東京電力管内、同10月より北海道・東北・中部・関西電力管内の組合員(一般)家庭へ小売事業を開始し、現在に至ります。 ■その他 ・市民によるエネルギーの自治(市民が自分たちで使うエネルギーを選択し、参加できる社会づくり)に取り組みます。 ・省エネルギー診断業務や省エネ対策の情報提供等を行っています。 ・グループの一部発電所の保守管理業務を受託しております。

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称		株式会社生活クラブエナジー 事業部
	連絡先	電 話 番 号	03-5643-0370
		ファクシミリ番号	03-5643-0371
		電子メールアドレス	sce@scenergy.co.jp
公 表 の 担当部署	名称		株式会社生活クラブエナジー 営業部
	連絡先	電 話 番 号	03-5643-0370
		ファクシミリ番号	03-5643-0371
		電子メールアドレス	sce@scenergy.co.jp

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2022 年 08 月 01 日		～	2023 年 07 月 31 日	
公表方法	☐ ホームページで公表	アドレス:				
	☐ 窓口での閲覧	閲覧場所:				
		所在地:				
		閲覧可能時間				
	☐ 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
		入手方法:				
	☒ その他	担当部署(営業部)に問い合わせ				

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	3.42	1.59

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.213	0.096	100.00%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	-	-	
調整後CO ₂ 排出係数	0.541	0.390	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

グループ各社ならび他社からの再生可能エネルギーの利用促進に努めております

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	7,927	49.34%	12,253	74.25%
(FIT電気)	7,927	49.34%	12,253	74.25%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

グループ各社ならび他社からの再生可能エネルギーの調達に努めております。
自社電源は保有しておりません

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

未利用エネルギーの利用等調達実績はありません。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

自社等で保有する火力発電所はありません。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

- ・2021年度は都内で需要家拡大を進める事務局を対象に環境問題や再エネに関する集会及び学習会を開催しました。
- ・需要家へ直接働きかけを行う事務局向けに月1回の電力通信を発信し、再エネ電力等について掲載しました。
- ・請求書やウェブサイトにおいて、電源構成などをはじめとした情報提供をしています。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

生活クラブのエネルギー7原則を定めています。

1. 省エネルギーを柱とします。
2. 原発のない社会、CO2を減らせる社会をつくれます。
3. 地域への貢献と自然環境に留意した発電事業をすすめます。
4. 電気の価格や送配電のしくみを明らかにします。
5. 生活クラブの提携産地との連携を深め、エネルギー自給率を高めます。
6. エシカルコンシューマーとして、再生可能エネルギーによる電気を積極的に共同購入します。
7. 生産から廃棄までトータルで責任を持ちます。

6 メニュー別調整後CO₂排出係数等の値

項目	前々年度			前年度		
	調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)		調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)	
メニューA	-	-	-	-	-	-
メニューB	-	-	-	-	-	-
メニューC	-	-	-	-	-	-
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			

(メニュー別調整後CO₂排出係数等に係る取組実績)

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあっては名称及び代表者の氏名)	積水化学工業株式会社 代表取締役社長 加藤 敬太
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあっては主たる事務所の所在地)	大阪府大阪市北区西天満二丁目4番4号

(2) 事業の概要

発電事業の有無	☐ 有 ☒ 無
都内供給区分	☐ 特別高圧 ☒ 高圧 ☒ 低圧(電力) ☒ 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	当社及びそのグループ会社が製造、販売する住宅、セキスイハイムのお客様から、卒FITの電気を買取るとともに、一般のお客様や、当社及びそのグループ会社の生産工場、事務所、住宅展示場等に電気を供給しています。

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称		住宅カンパニー ストック事業統括部 スマートハイムでんきグループ
	連絡先	電 話 番 号	029-864-4901
		ファクシミリ番号	
		電子メールアドレス	shdenki-gyoumu@sekisui.com
公 表 の 担当部署	名称		住宅カンパニー ストック事業統括部 スマートハイムでんきグループ
	連絡先	電 話 番 号	029-864-4901
		ファクシミリ番号	
		電子メールアドレス	shdenki-gyoumu@sekisui.com

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2022 年 08 月 01 日		～	2023 年 07 月 31 日	
公表方法	☐ ホームページで公表	アドレス:				
	☐ 窓口での閲覧	閲覧場所:				
		所在地:				
		閲覧可能時間				
	☐ 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
		入手方法:				
	☒ その他	問合せでの求めに応じて、個別に提供する				

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	0.04	0.15

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.157	0.249	100.00%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	-	-	
調整後CO ₂ 排出係数	0.000	0.000	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

全国のセキスイハイムのお客様の卒FIT電気の買取を進め、排出係数の削減に寄与しました。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	150	62.32%	182	31.25%
(FIT電気)	66	27.45%	49	8.45%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

住宅建物のメーカーとして、太陽光発電や蓄電池付きの住宅を生産し、積極的に提供することで、生活におけるCO2排出量の削減と、小売電気事業者として、卒FIT余剰電力の買取りによって、再生可能エネルギー由来の電気の供給を進めました。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

該当なし

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

該当なし

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

住宅建物のメーカーとして、太陽光発電や蓄電池付きの住宅を生産し、積極的に提供することで、生活におけるCO2排出量の削減に寄与しました。
また、お客さまに対して、ご自宅の太陽光発電設備で発電した電気を、売電目的ではなく、自家消費することをお勧めし、これに適した料金プランを用意することで、自家消費への移行を推進しました。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

当社およびグループ会社の生産事業所への太陽光発電設備の設置等を進め、当社の生産活動におけるCO2排出量の削減を進めました。

6 メニュー別調整後CO₂排出係数等の値

項目	前々年度			前年度		
	調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)		調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)	
メニューA	-	-	-	-	-	-
メニューB	-	-	-	-	-	-
メニューC	-	-	-	-	-	-
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			

(メニュー別調整後CO₂排出係数等に係る取組実績)

東京都外にはなりますが、実質再エネ100%のメニューを法人向けに提供しています。

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあっては名称及び代表者の氏名)	ゼロワットパワー株式会社 代表取締役 佐藤 和彦
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあっては主たる事務所の所在地)	千葉県柏市若柴178番地4 柏の葉キャンパスKOIL

(2) 事業の概要

発電事業の有無	☒ 有 ☐ 無
都内供給区分	☒ 特別高圧 ☒ 高圧 ☒ 低圧(電力) ☒ 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	1. 小売電気事業 バイオマス発電などの再生可能エネルギーを中心とした電気の小売事業を平成29年7月から実施しています。 2. 発電所サポート バイオマスを燃料とした発電所の建設計画及び・運用支援 燃料調達支援 3. 関連会社での発電事業 関連会社であるつくばグリーンパワープラント株式会社で 廃食油を利用したバイオマス発電を行い、 発電した電力は弊社が調達しています。

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称		電力事業部
	連絡先	電 話 番 号	04-7126-0561
		ファクシミリ番号	04-7126-0562
		電子メールアドレス	contact@zwp.co.jp
公 表 の 担当部署	名称		電力事業部
	連絡先	電 話 番 号	04-7126-0561
		ファクシミリ番号	04-7126-0562
		電子メールアドレス	contact@zwp.co.jp

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2022 年 08 月 01 日		～	2023 年 07 月 31 日	
公表方法	☐ ホームページで公表	アドレス:				
	☒ 窓口での閲覧	閲覧場所: ゼロワットパワー事務所内				
		所在地: 千葉県柏市若柴178番地4柏の葉キャンパスKOIL				
		閲覧可能時間 9時～18時				
	☐ 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
		入手方法:				
	☐ その他					

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量 (単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	1.08	3.97

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況 (単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.028	0.058	100.00%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	0.000	0.073	
調整後CO ₂ 排出係数	0.095	0.000	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

原則、化石燃料を使用した発電所からの調達を行わない方針としている、
2021年度は停止中のバイオマス発電所が化石燃料による運転を行った事例1件
未利用エネルギー活用として廃棄物発電の調達も行っている。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	34,096	89.03%	51,543	75.11%
(FIT電気)	28,335	73.99%	44,014	64.14%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

- ・入札等による再生可能エネルギーの調達推進
- ・2021年度は非FITの小型水力発電所からの調達によりFIT電気の電源比率を低く抑える事が出来た

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
1,774	4.63%	12,015	17.51%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

全国のごみ発電所等からの電力調達実績があります。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

火力発電所は所有しておりません

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

調整後CO2排出係数0.00 (kg-CO2/kWh)のメニュー利用の推奨を行っています。

希望するお客様向けに、電力利用状況を踏まえた節電のアドバイス等を行っています。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

・自動車からの温室効果ガス削減のため、社用車にハイブリッド車を導入する等の取り組みを行っています。

6 メニュー別調整後CO₂排出係数等の値

項目	前々年度			前年度		
	調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)		調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)	
メニューA	0.000	75.29%	75.29%	－	－	－
メニューB	0.000	69.94%	69.94%	－	－	－
メニューC	－	－	－	－	－	－
	－	－	－			
	－	－	－			
	－	－	－			
	－	－	－			
	－	－	－			
	－	－	－			
	0.091	79.60%	15.22%			

(メニュー別調整後CO₂排出係数等に係る取組実績)

FIT非化石証書での再エネメニューに加え、
FIT電気を使用したくないお客様向けメニューを用意している。
RE100電源の証明等、お客様要望に応じて、トラッキング付FIT非化石証書を入手している。
2021年度は、非化石証書(再エネ指定あり)によるオフセットを行い全社の排出係数を0.000としたため、メニュー別排出係数の申請は行わない事とした。

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあっては名称及び代表者の氏名)	株式会社センカク 代表取締役 西山 由之
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあっては主たる事務所の所在地)	東京都新宿区西新宿1-25-1 新宿センタービル

(2) 事業の概要

発電事業の有無	☐ 有 ☒ 無
都内供給区分	☐ 特別高圧 ☐ 高圧 ☒ 低圧(電力) ☐ 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	・小売電気事業 弊社が運営するコインランドリー及びトランクルームへの小売電気事業を行っております。

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称		社長室
	連絡先	電 話 番 号	03-3343-1111
		ファクシミリ番号	03-5909-8555
		電子メールアドレス	new-energy@senkaq.com
公 表 の 担当部署	名称		社長室
	連絡先	電 話 番 号	03-3343-1111
		ファクシミリ番号	03-5909-8555
		電子メールアドレス	new-energy@senkaq.com

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2022 年 08 月 01 日		～	2023 年 07 月 31 日	
公表方法	☐ ホームページで公表	アドレス:				
	☐ 窓口での閲覧	閲覧場所:				
		所在地:				
		閲覧可能時間				
	☐ 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
		入手方法:				
	☒ その他	担当部署にお問い合わせ				

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	0.19	0.31

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.445	0.433	100.00%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	-	-	
調整後CO ₂ 排出係数	0.390	0.377	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

特になし

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	0	0.00%	0	0.00%
(FIT電気)	0	0.00%	0	0.00%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

特になし

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

特になし

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

火力発電所は所有しておりません。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

特になし

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

特になし

6 メニュー別調整後CO₂排出係数等の値

項目	前々年度			前年度		
	調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)		調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)	
メニューA	-	-	-	-	-	-
メニューB	-	-	-	-	-	-
メニューC	-	-	-	-	-	-
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			

(メニュー別調整後CO₂排出係数等に係る取組実績)

特になし

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあつては名称及び代表者の氏名)	セントラル石油瓦斯株式会社 代表取締役社長 太田 晃
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあつては主たる事務所の所在地)	東京都中央区日本橋二丁目3番4号

(2) 事業の概要

発電事業の有無	☐ 有 ☒ 無
都内供給区分	☐ 特別高圧 ☐ 高圧 ☒ 低圧(電力) ☒ 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	・小売電気事業者 東京エリアにて主に家庭用向けに低圧電力の小売り事業を行っております。

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称		電力部
	連絡先	電 話 番 号	0285-24-5132
		ファクシミリ番号	0285-24-5086
		電子メールアドレス	csg-denryoku@csggas.co.jp
公 表 の 担当部署	名称		電力部
	連絡先	電 話 番 号	0285-24-5132
		ファクシミリ番号	0285-24-5086
		電子メールアドレス	csg-denryoku@csggas.co.jp

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2022 年 08 月 01 日		～	2023 年 07 月 31 日	
公表方法	☐ ホームページで公表	アドレス:				
	☐ 窓口での閲覧	閲覧場所:				
		所在地:				
		閲覧可能時間				
	☐ 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
		入手方法:				
	☒ その他	担当部署へ問い合わせ				

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	0.28	0.30

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.414	0.485	100.00%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	-	-	
調整後CO ₂ 排出係数	0.359	0.429	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

高効率LNG火力発電所からの調達による削減。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	0	0.00%	0	0.00%
(FIT電気)	0	0.00%	0	0.00%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

再生可能エネルギーの利用促進に関する取組は行っておりません。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

未利用エネルギー等を利用した電源の利用計画は現在の所ございません。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

弊社は火力発電所を所有しておりません。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

需要家自らが使用電力量を確認できるWEBポータルシステムを導入しており、需要家に対して、同システムの積極的な活用を通じた、省エネへの関心と取り組みを働きかけます。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

- ・地域エコ活動への参加。
- ・エネファーム・高効率給湯器・ガスコンロ等の環境にやさしい省エネ商品の普及活動。
- ・太陽光発電の普及活動

6 メニュー別調整後CO₂排出係数等の値

項目	前々年度			前年度		
	調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)		調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)	
メニューA	-	-	-	-	-	-
メニューB	-	-	-	-	-	-
メニューC	-	-	-	-	-	-
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			

(メニュー別調整後CO₂排出係数等に係る取組実績)

無し

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあっては名称及び代表者の氏名)	全農エネルギー株式会社 代表取締役社長和田 雅之
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあっては主たる事務所の所在地)	東京都千代田神田猿樂町1-5-18

(2) 事業の概要

発電事業の有無	☐ 有 ☒ 無
都内供給区分	☐ 特別高圧 ☒ 高圧 ☒ 低圧(電力) ☒ 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	北海道、沖縄除く全国エリアにおいて、他社からの購入電源を用いてJAグループ施設へ電力供給を行っております。

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称		電力事業部
	連絡先	電 話 番 号	03-6630-8830
		ファクシミリ番号	03-6630-8825
		電子メールアドレス	denryokujigyoku@zec.jp
公 表 の 担当部署	名称		電力事業部
	連絡先	電 話 番 号	03-6630-8830
		ファクシミリ番号	03-6630-8825
		電子メールアドレス	denryokujigyoku@zec.jp

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2022 年 08 月 01 日		～	2023 年 07 月 31 日	
公表方法	☐ ホームページで公表	アドレス:				
	☐ 窓口での閲覧	閲覧場所:				
		所在地:				
		閲覧可能時間				
	☐ 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
		入手方法:				
☒ その他	担当部署での問い合わせ対応					

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	1.59	1.58

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.489	0.441	100.00%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	-	-	
調整後CO ₂ 排出係数	0.469	0.427	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

・排出係数の低い発電設備から調達を行うことで、排出係数低減に努めました。
・上記の取り組みのため弊社電力事業部と親会社の電力関連事業部門と緊密に連携し、情報の収集に努めております。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	0	0.00%	0	0.00%
(FIT電気)	0	0.00%	0	0.00%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

・親会社と協力し、再生可能エネルギーからの調達を増やすことを検討しましたが、昨年度は大幅な利用の促進はありませんでした。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

親会社と協力し廃棄物発電等からの電源調達を検討しましたが、昨年度は調達していません。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

弊社は火力発電所を保有していません。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

・お客様にて電気使用量を確認できるシステムを導入することで、お客様と共に省エネ・温室効果ガスの低減に取り組めます。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

・オフィスの空調は夏28℃、冬20℃の設定とし、夏はクールビズを実施しています。

6 メニュー別調整後CO₂排出係数等の値

項目	前々年度			前年度		
	調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)		調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)	
メニューA	-	-	-	-	-	-
メニューB	-	-	-	0.000	0.00%	0.00%
メニューC	-	-	-	0.000	0.00%	0.00%
メニューD	-	-	-	-	-	-
メニューE	-	-	-	-	-	-
メニューF	-	-	-	-	-	-
メニューG	-	-	-	-	-	-
メニューH	-	-	-	-	-	-
メニューI	-	-	-	-	-	-
メニューJ	-	-	-	0.000	-	-

(メニュー別調整後CO₂排出係数等に係る取組実績)

非化石価値取引市場にて環境価値を付与した料金メニューを希望する需要家に対して供給。